

注3

大学番号：私198

[平成22年度設置]

計画の区分：大学の学部の設置

注1

認可

東京工科大学  
デザイン学部、医療保健学部

注2

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 片柳学園  
平成23年5月1日現在

### 作成担当者

#### 担当部局（課）名

職名・氏名	<small>ジムキョクジチョウ</small> 事務局次長	<small>タナカ</small> 田中	<small>ユウスケ</small> 祐輔
職名・氏名	<small>ジムキョクギョウムカ</small> 事務局業務課課長補佐	<small>ハヤカワ</small> 早川	<small>カズミ</small> 和美
電話番号	042-637-2111		
（夜間）	042-692-4256		
F A X	042-637-2112		
e-mail	hachi-gyoumu@so.teu.ac.jp		

(注) 1 「計画の区分」は認可時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

認可時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

「意見伺い」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成23年3月11日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

## 目 次

	ページ
1 調査対象大学等の概要等 . . . . .	1
2 授業科目の概要 . . . . .	12
3 施設・設備の整備状況, 経費 . . . . .	36
4 既設大学等の状況 . . . . .	39
5 教員組織の状況 . . . . .	40
6 留意事項に対する履行状況等 . . . . .	67
7 その他全般的事項 . . . . .	69

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 片柳学園

## (2) 大学名

東京工科大学

## (3) 大学の位置

〒144-8535 東京都大田区西蒲田5-23-22  
 (〒192-0982 東京都八王子市片倉町1404-1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(かたやなぎ こう) 片柳 鴻 (昭和31年7月)		
学長	(かるべ いさお) 軽部 征夫 (平成20年6月)		
デザイン学部 学部長	(みやした やすひろ) 宮下 安弘 (平成22年4月)		
医療保健学部 学部長	(やなぎさわ のぶお) 柳澤 信夫 (平成22年4月)		
医療保健学部 看護学科 学科長	(ささき じゅんこ) 佐々木 順子 (平成22年4月)		
医療保健学部 臨床工学科 学科長	(やまうら とみお) 山浦 富雄 (平成22年4月)		
医療保健学部 理学療法学科 学科長	(いとう なおえい) 伊藤 直榮 (平成22年4月)	(なかやま たかし) 中山 孝 (平成22年4月)	●●●●が平成21年11月に死亡したため(22)
医療保健学部 作業療法学科 学科長	(やなぎさわ のぶお) 柳澤 信夫 (平成22年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

( ) 書きで記入してください。

(例) 平成20年度に報告済の内容 → (20)

平成23年度に報告する内容 → (23)

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・ 大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成20年度開設の4年制の学科の場合(平成23年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

<デザイン学部>

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
デザイン学部 デザイン学科  学士(デザイン)	4年	200人	- 年次 人	800人	

<医療保健学部>

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
医療保健学部 看護学科 学士(看護学)	4年	80人	- 年次 人	320人	
臨床工学科 学士(臨床工学)	4	80	-	320	
理学療法学科 学士(理学療法)	4	80	-	320	
作業療法学科 学士(作業療法)	4	40	-	160	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

<デザイン学部 デザイン学科>

区分	対象年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	200人	-人	200人	-人	人	人	人	人			1.01倍	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( )	( )	( )	( )				
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]				
志願者数	494	-	504	-								
	( - )	( - )	( - )	( - )	( )	( )	( )	( )				
	[ 1 ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]				
受験者数	464	-	488	-								
	( - )	( - )	( - )	( - )	( )	( )	( )	( )				
	[ 1 ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]				
合格者数	320	-	361	-								
	( - )	( - )	( - )	( - )	( )	( )	( )	( )				
	[ 1 ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]				
B 入学者数	213	-	193	-								
	( - )	( - )	( - )	( - )	( )	( )	( )	( )				
	[ 1 ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]				
入学定員超過率 B/A	1.06		0.96									

<医療保健学部 看護学科>

区分	対象年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	80人	—人	80人	—人	人	人	人	人			1.07倍	
	( — )		( — )		( )	( )	( )	( )				
	[ — ]		[ — ]		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]				
志願者数	628	—	1,184	—								
	( — )	( — )	( — )	( — )	( )	( )	( )	( )				
	[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]				
受験者数	586	—	1,129	—								
	( — )	( — )	( — )	( — )	( )	( )	( )	( )				
	[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]				
合格者数	148	—	177	—								
	( — )	( — )	( — )	( — )	( )	( )	( )	( )				
	[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]				
B 入学者数	87	—	86	—								
	( — )	( — )	( — )	( — )	( )	( )	( )	( )				
	[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]				
入学定員超過率 B/A	1.08		1.07									

<医療保健学部 臨床工学科>

区分	対象年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	80人	—人	80人	—人	人	人	人	人			1.06倍	
	( — )		( — )		( )	( )	( )	( )				
	[ — ]		[ — ]		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]				
志願者数	247	—	637	—								
	( — )	( — )	( — )	( — )	( )	( )	( )	( )				
	[ — ]	[ — ]	[ 3 ]	[ — ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]				
受験者数	234	—	609	—								
	( — )	( — )	( — )	( — )	( )	( )	( )	( )				
	[ — ]	[ — ]	[ 2 ]	[ — ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]				
合格者数	145	—	188	—								
	( — )	( — )	( — )	( — )	( )	( )	( )	( )				
	[ — ]	[ — ]	[ 2 ]	[ — ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]				
B 入学者数	82	—	89	—								
	( — )	( — )	( — )	( — )	( )	( )	( )	( )				
	[ — ]	[ — ]	[ 2 ]	[ — ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]				
入学定員超過率 B/A	1.02		1.11									

<医療保健学部 理学療法学科>

区分	対象年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	80人	—人	80人	—人							1.03倍	
	( — )		( — )		( )		( )		( )			
	[ — ]		[ — ]		[ ]		[ ]		[ ]			
志願者数	628	—	1,076	—								
	( — )	( — )	( — )	( — )	( )	( )	( )	( )	( )	( )		
	[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		
受験者数	598	—	1,041	—								
	( — )	( — )	( — )	( — )	( )	( )	( )	( )	( )	( )		
	[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		
合格者数	154	—	188	—								
	( — )	( — )	( — )	( — )	( )	( )	( )	( )	( )	( )		
	[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		
B 入学者数	81	—	85	—								
	( — )	( — )	( — )	( — )	( )	( )	( )	( )	( )	( )		
	[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		
入学定員超過率 B/A	1.01		1.06									

<医療保健学部 作業療法学科>

区分	対象年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	40人	—人	40人	—人							1.03倍	
	( — )		( — )		( )		( )		( )			
	[ — ]		[ — ]		[ ]		[ ]		[ ]			
志願者数	128	—	301	—								
	( — )	( — )	( — )	( — )	( )	( )	( )	( )	( )	( )		
	[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		
受験者数	122	—	296	—								
	( — )	( — )	( — )	( — )	( )	( )	( )	( )	( )	( )		
	[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		
合格者数	68	—	93	—								
	( — )	( — )	( — )	( — )	( )	( )	( )	( )	( )	( )		
	[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		
B 入学者数	41	—	42	—								
	( — )	( — )	( — )	( — )	( )	( )	( )	( )	( )	( )		
	[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		
入学定員超過率 B/A	1.02		1.05									

- (注) ・ ( ) 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入**してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、**計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。**
- ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
- ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

<デザイン学部 デザイン学科>

学 年	対象年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 1 ] 213	[ - ] -	[ - ] 206	[ - ] -	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
2年次	/		[ 1 ] 196	[ - ] -	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
3年次			/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
4年次	/				[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
計			[ 1 ] 213	[ - ]	[ 1 ] 402	[ - ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]

<医療保健学部 看護学科>

学 年	対象年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] 87	[ - ] -	[ - ] 87	[ - ] -	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
2年次	/		[ - ] 85	[ - ] -	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
3年次			/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
4年次	/				[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
計			[ - ] 87	[ - ]	[ - ] 172	[ - ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]

<医療保健学部 臨床工学科>

学 年	対象年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] 82	[ - ] -	[ 2 ] 89	[ - ] -	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
2年次	/		[ - ] 80	[ - ] -	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
3年次			/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
4年次	/				[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
計			[ - ] 82	[ - ]	[ 2 ] 169	[ - ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]



<医療保健学部 理学療法学科>

学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] 81	[ - ] -	[ - ] 86	[ - ] -	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
2年次	/		[ - ] 78	[ - ] -	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
3年次			/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
4年次	/				[ ]	[ ]			
計			[ - ] 81	[ - ] -	[ - ] 164	[ - ] -	[ ]	[ ]	[ ]

<医療保健学部 作業療法学科>

学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] 41	[ - ] -	[ - ] 43	[ - ] -	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
2年次	/		[ - ] 38	[ - ] -	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
3年次			/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
4年次	/				[ ]	[ ]			
計			[ - ] 41	[ - ] -	[ - ] 81	[ - ] -	[ ]	[ ]	[ ]

- (注) ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
  - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
  - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

<デザイン学部 デザイン学科>

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [ 0 ]	(累積)計 [ 1 ]	1.9%
	うち平成22年度入学者 4人	うち平成22年度 213人	
	(主な退学理由) ・他の教育機関への入学・転学 4人		
平成23年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	計 [ ]	(累積)計 [ ]	%
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	(主な退学理由)		
平成24年度 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)	計 [ ]	(累積)計 [ ]	%
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	うち平成24年度 人	
	(主な退学理由)		

<医療保健学部 看護学科>

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [ 0 ]	(累積)計 [ 0 ]	1.1%
	うち平成22年度入学者 1人	うち平成22年度 87人	
	(主な退学理由) ・学生個人の心身に関する事情 1人		
平成23年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	計 [ ]	(累積)計 [ ]	%
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
(主な退学理由)			
平成24年度 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)	計 [ ]	(累積)計 [ ]	%
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	うち平成24年度 人	
(主な退学理由)			

<医療保健学部 臨床工学科>

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [ 0 ]	(累積)計 [ 0 ]	2.4%
	うち平成22年度入学者 2人	うち平成22年度 82人	
	(主な退学理由) ・他の教育機関への入学・転学 2人		
平成23年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	計 [ ]	(累積)計 [ ]	%
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
(主な退学理由)			
平成24年度 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)	計 [ ]	(累積)計 [ ]	%
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	うち平成24年度 人	
(主な退学理由)			

<医療保健学部 理学療法学科>

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [ 0 ]	(累積)計 [ 0 ]	2.5%
	うち平成22年度入学者 2人	うち平成22年度 81人	
(主な退学理由) ・他の教育機関への入学・転学 2人			
平成23年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	計 [ ]	(累積)計 [ ]	%
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
(主な退学理由)			
平成24年度 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)	計 [ ]	(累積)計 [ ]	%
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	うち平成24年度 人	
(主な退学理由)			

<医療保健学部 作業療法学科>

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [ 0 ]	(累積)計 [ 0 ]	4.9%
	うち平成22年度入学者 2人	うち平成22年度 41人	
(主な退学理由) ・家庭の事情 2人			
平成23年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	計 [ ]	(累積)計 [ ]	%
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
(主な退学理由)			
平成24年度 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)	計 [ ]	(累積)計 [ ]	%
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	うち平成24年度 人	
(主な退学理由)			

- (注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度の前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
  - ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
    - ・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学
    - ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

## 2 授業科目の概要

<デザイン学部 デザイン学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
基礎教育科目	人文・社会	哲学	1前		2							
		芸術論	1前		2		1					
		宗教学	2前		2							
		心理学	1後		2							
		倫理学	2後		2							
		政治学	1前		2							
		経済学	1前		2							
		法学	1後		2							
		科学論	1後		2							
		コミュニケーション論	2前		2							
	心身ウェルネス	栄養と健康	1前		2							
		スポーツ・コンディショニング	1後		2							
		集中実技Ⅰ	1前		1							
		集中実技Ⅱ	1後		1							
	英語	フレッシュマンイングリッシュⅠ	1前	2			1					
		フレッシュマンイングリッシュⅡ	1後	2			1					
		英語インテンシブⅠ	2前		1		1					
		英語インテンシブⅡ	2後		1		1					
		英語インテンシブⅢ	3前		1		1					
		英語インテンシブⅣ	3後		1		1					
	コンピュータ	コンピュータリテラシーⅠ	1前	2			1					
		コンピュータリテラシーⅡ	1後	2				1				
		コンピュータ概論Ⅰ	1前		2		1					
		コンピュータ概論Ⅱ	1後		2		1					
	自然科学	数理造形	2前		2							
		統計学	2前		2							
		環境と科学	1後		2							
		生物の基礎	1前		2							
化学の基礎		1後		2								
物理の基礎		1後		2								
数学の基礎		1前		2								
小計(31科目)		—	8	48		3	1					

<デザイン学部 デザイン学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					
専門教育科目	専門 共通科目	デザイン論	1前	2			1 <del>0</del> 1	1					当初、●●●●が、平成23年4月から専任教員(教授)として就任し、平成22年度は兼任講師として担当することを予定していたが、健康上の理由により、平成22年2月に就任辞退。平成22年度の担当教員を、石橋宏准教授に変更(22)●●●●(専任教員・教授)が就任を辞任したため、担当者を変更(23)〔担当 及部克人(教授)平成22年9月教員審査済(判定可(23)) 当初、●●●●が、平成23年4月から専任教員(教授)として就任し、平成22年度は兼任講師として担当することを予定していたが、健康上の理由により、平成22年2月に就任辞退。平成22年度の担当教員を、若林尚樹教授に変更(22)●●●●(専任教員・教授)が就任を辞任したため、担当者を変更(23)〔担当 及部克人(教授)平成22年9月教員審査済(判定可(23)) 当初、●●●●教授が、平成23年4月から専任教員(教授)として就任し、平成22年度は兼任講師として担当することを予定していたが、健康上の理由により、平成22年2月に就任辞退。平成22年度の担当教員を、伊藤丙雄准教授に変更(22)●●●●(専任教員・教授)が就任を辞任したため、担当者を変更(23)〔担当 及部克人(教授)平成22年9月教員審査済(判定可(23))		
		デザイン史	1後	2			1								
		デザイン概説Ⅰ(基礎)	1前	2			2	3	1						
		デザイン概説Ⅱ(応用)	1後	2			3 <del>2</del> 3	1							
	専門 教育科目	感性 基礎科目	デザインと社会論	2前	2				1						
			現代アート論	3前	2				1						
			美術史	2後	2			1							
			企業研究	2後		1		1							
			地域とデザイン	3前		1		1							
			伝達論	2前		2			1						
			構成論	2前		2			1						
			演出論	2前		2				1					
			感性 基礎科目	演習 関連科目	感性演習Ⅰ(描く)	1①・②・③・④	3			1		1		1	
					感性演習Ⅰ(つくる)	1①・②・③・④	3				1	1			
感性演習Ⅰ(関係づける)	1①・②・③・④	3					1								
感性演習Ⅰ(伝える)	1①・②・③・④	3						1							
感性演習Ⅱ(描く)	2①・②・③・④	3					1		1	1					
感性演習Ⅱ(つくる)	2①・②・③・④	3						1	1						
感性演習Ⅱ(関係づける)	2①・②・③・④	3					1								
感性演習Ⅱ(伝える)	2①・②・③・④	3						1							
感性 基礎科目	演習 関連科目	色彩概論	1前	2				1							
		素材と加工	1後	2				1							
		動体構成論	2後		2				1						
		図法および製図Ⅰ(基礎)	2前		2				1						
		図法および製図Ⅱ(応用)	3前		2				1						
		空間構成論	2前		2		1								

<デザイン学部 デザイン学科>

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置				備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教		助 手
スキル	スキル演習 I (Webページデザイン)	2①・②・③・④		1							
	スキル演習 I (DTP)	2①・②・③・④		1				1			
	スキル演習 I (画像加工)	2①・②・③・④		1					1		
	スキル演習 I (イラストレーション)	2①・②・③・④		1				1			
	スキル演習 I (グラフィックプログラミング)	2①・②・③・④		1							
	スキル演習 I (写真撮影技法)	2①・②・③・④		1							
	スキル演習 I (イメージデザイン)	2①・②・③・④		1		1					
	スキル演習 I (タイポグラフィ)	2①・②・③・④		1			1				
	スキル演習 II (インタラクティブWebデザイン)	3①・②・③・④		1		1					
	スキル演習 II (エディトリアルデザイン)	3①・②・③・④		1				1			
	スキル演習 II (映像編集)	3①・②・③・④		1				1			
	スキル演習 II (プロダクトシミュレーション)	3①・②・③・④		1				1	1		
	スキル演習 II (アニメーション)	3①・②・③・④		1				1			
	スキル演習 II (映像撮影技法)	3①・②・③・④		1					1		
	スキル演習 II (サウンドデザイン)	3①・②・③・④		1			1				
スキル演習 II (空間シミュレーション)	3①・②・③・④		1		1				1		
関連科目	写真論	2後		2							
	イラストレーション論	2後		2				1			
	映像論	2後		2		1					
	アニメーション論	3前		2					1		
	情報デザイン論	3前		2					1		
	サウンドデザイン論	3前		2				1			
	CAD設計論	3後		2							
デザイン専門科目	視覚と伝達専門演習 I	3①・②・③		3			1	1	1	1	●●●● (専任教員・教授) が就任を辞任したため、担当者を変更(23) 〔担当 及部克人(教授) 平成22年9月教員審査済 判定 可(23)〕
	映像と構成専門演習 I	3①・②・③		3			1	1	1		
	空間と演出専門演習 I	3①・②・③		3			1	1	1		
	視覚と伝達専門演習 II	3④		3			1	1	1	1	●●●● (専任教員・教授) が就任を辞任したため、担当者を変更(23) 〔担当 及部克人(教授) 平成22年9月教員審査済 判定 可(23)〕
	映像と構成専門演習 II	3④		3			1	1	1		
	空間と演出専門演習 II	3④		3			1	1	1		
専門	知的財産論	3前		2							
	マネジメント	3前		2							
	認知心理学	3後		2							
	プレゼンテーション技法	2後		2			1				
	マーケティング論	3前		2							
	経営・経済論	3後		2							
	インターラクシオンデザイン	2後		2		1					
	編集論	2前		2				1			
	広告論	3前		2			1				●●●● (専任教員・教授) が就任を辞任したため、担当者を変更(23) 〔担当 及部克人(教授) 平成22年9月教員審査済 判定 可(23)〕
	ピクトグラムデザイン	2後		2				1			
	色彩応用論	2前		2		1					
	プロダクトデザイン論	2後		2							
	空間デザイン論	3前		2			1				
	企画と展示	3前		2			1				
コンピュータグラフィックス論	2後		2							学生への講義内容の理解度を高めるため(23)	
CM表現論	2後		2		1						
メディアアート	3後		2				1				



<デザイン学部 デザイン学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	コース専門科目 専門研究	視覚と伝達専門研究	4前		4		2	2	2	1	●●●●(専任教員・教授)が就任を辞任したため、担当を変更(23) 担当 及部克人(教授) 平成22年9月教員審査済 判定可(23)	
		映像と構成専門研究	4前		4		2	2	2	1		
		空間と演出専門研究	4前		4		2	2	2	1		
	卒業研究	視覚と伝達卒業研究	4後		4		2	2	2	1		●●●●(専任教員・教授)が就任を辞任したため、担当を変更(23) 担当 及部克人(教授) 平成22年9月教員審査済 判定可(23)
		映像と構成卒業研究	4後		4		2	2	2	1		
		空間と演出卒業研究	4後		4		2	2	2	1		
	小計(78科目)		—	51	113		7	7	6	3		
合計(109科目)		—	59	161		9	7	6	3			

- (注)
- ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1)授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3)未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

<デザイン学部 デザイン学科>

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
24	85	0	109	24	85	0	109	
				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[ ]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。（ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」  
「該当なし」

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	0	=	
認可時の計画の授業科目数の計	109		0.00

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<医療保健学部 看護学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎 教育 科目	哲学	1前		2								
	芸術論	1前		2								
	科学論	1後		2								
	心理学	1後		2								
	倫理学	2後		2								
	宗教学	2前		2								
	政治学	1前		2								
	経済学	1前		2								
	法学	1後		2								
	コミュニケーション論	2前		2								
	英語	フレッシュマンイングリッシュ I	1前	2								
		フレッシュマンイングリッシュ II	1後	2								
		英語インテンシブI	2前		1							
		英語インテンシブII	2後		1							
	心身ウェルネス	栄養と健康	1前		2							
		スポーツ・コンディショニング	1後		2							
		集中実技 I	1前		1							
		集中実技 II	1後		1							
	コンピュータ	コンピュータリテラシー演習I	1前	1								
		コンピュータリテラシー演習II	1後		1							
		コンピュータ概論I	1前	2								
		コンピュータ概論II	1後		2							
		応用コンピュータI	2前		2							
		応用コンピュータII	2後		2							
		応用コンピュータ演習I	2前		1							
		応用コンピュータ演習II	2後		1							
	人間形成	フレッシュャーズゼミ	1通	2			9	4	2	0	0	
	自然科学	医療科学の基礎 I	1前	2								
		医療科学の基礎 II	1後		2							
		生物の基礎	1前		2							
		化学の基礎	1後		2							
		物理の基礎	1後		2							
		数学の基礎	1前		2							
		統計学	2前		2							
小計 (34科目)		—	11	49	0	9	4	2	0	0		

<医療保健学部 看護学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人間社会と医療  専門基礎科目  人体のメカニズムと疾病・障害	癒しのケア学	1前	2									
	公衆衛生学	2後	2			1						
	疫学	2後	2			1						
	保健医療福祉論	1後	2			1						
	生命倫理	1後	2									
	健康環境論	3前		1								
	発達心理学	2前		2								
	臨床心理学	2後		2								
	人間学	2前		1								
	家族社会学	2前		2								
	医療経済学	2後		2								
	人体構造学	1前	2									
	人体機能学	1後	2									
	栄養代謝学	1後	2									
	臨床微生物・免疫学	2前	2									
	病理病態学Ⅰ（総論）	1後	2									
	病理病態学Ⅱ（各論）	2前	2									
	疾病治療論Ⅰ（外科系医学）	<del>2後</del> 2前	2									「疾病治療論Ⅱ（内科系医学）」を2年前期に変更したため、「疾病治療論Ⅰ（外科系医学）」の開講期を2年次前期から2年後期に変更(23)
	疾病治療論Ⅱ（内科系医学）	<del>2前</del> 2後	2									学生への講義内容の理解度を高めるため、開講期を2年後期から2年前期に変更(23)
	疾病治療論Ⅲ（産科・小児・精神医学）	2前	2			1						
	臨床薬理学	2後	2									
	臨床工学演習	2後	1								4	
	臨床栄養学	3前		2								
	画像評価学	2後		1								
	医学概論	1前		2								
	リハビリテーション概論	2前		1								
小計（26科目）			31	16	0	2	0	0	0	4		

<医療保健学部 看護学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
看護の基礎	看護学概論	1前	2			1						
	基礎看護技術Ⅰ（看護共通技術）	1後	1			2	2				2	
	基礎看護技術Ⅱ（日常生活の援助技術Ⅰ）	1後	1			2	2				2	
	基礎看護技術Ⅲ（日常生活の援助技術Ⅱ）	2前	1			2	2				2	
	基礎看護技術Ⅳ（診療の援助技術）	2後	1			2	2				2	
	看護理論・看護過程	2前・後	2				1				2	
	看護倫理	2前	1			1						
	ヘルスアセスメントⅠ（Basic）	2前	1			1					4	
	ヘルスアセスメントⅡ（Advance）	2後	2			4					4	
	臨床看護学概論Ⅰ（母性・小児）	2前	2			2						
	臨床看護学概論Ⅱ（成人・高齢者）	2前	2			2						
	精神看護学概論	2後	2			1						
	在宅看護学概論	2後	1					1				
	地域看護学概論	2前	2			1						
	看護工学	2前	1									
感染制御ケア	2後	1										
専門科目 看護の方法	母性看護学Ⅰ（ライフステージと看護）	2後	1			1					1	
	母性看護学Ⅱ（マタニティサイクルと看護）	3前	1			1					1	
	小児看護学Ⅰ（子どもと家族の生活支援）	2後	1			1					1	
	小児看護学Ⅱ（病気の子どものアセスメントと看護の実際）	3前	1			1					1	
	成人看護学Ⅰ（周手術期ケア・クリティカルケア）	2後	2			2				2	2	
	成人看護学Ⅱ（生活調整・生活再構築）	3前	2			2				2	2	
	成人看護技術演習	3前	1			2				2	2	
	高齢者看護学Ⅰ（高齢者の暮らしへの看護）	2後	1			1		1			1	
	高齢者看護学Ⅱ（高齢者のアセスメントと看護の実際）	3前	1			1		1			1	
	精神看護学	3前	2			1	1				1	
	在宅看護学	3前	2					1			1	
	地域看護学Ⅰ（地域看護方法論）	2後	2			1				2		
	地域看護学Ⅱ（対象別保健活動の展開）	3前	2			1				2		
	健康学習論	2前	2			1						
	産業看護	3前	1				1					
医療・看護情報学	3前	1										
家族看護学	2前		2									
看護の実践	基礎看護学実習Ⅰ（人間形成）	1後	1			2	2			2	5	
	基礎看護学実習Ⅱ（看護過程）	2後	2			2	2			2	5	
	母性看護学実習	3後	2			1					1	
	小児看護学実習	3後	2			1				0 +	1	●●●●（専任教員・助教）が、一身上の都合により平成23年3月に退職(23)
	成人看護学実習	3後	4			2				2	2	
	高齢者看護学実習	3後	3			1		1			1	
	精神看護学実習	3後	2			1	1				1	
	在宅看護学実習	4前	2					1	1	1	1	
地域看護学実習	4前	3			1	1			2			

<医療保健学部 看護学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	単位	教授	准教授	講師	助教	助手	
看護の統合	看護管理学	4後	1			1						
	災害看護学	4後	1									
	看護研究	3後	1			9	1					
	卒業研究	4通	2			9	4	2				
	統合看護実習	4後	2			9	4	2	<del>7</del>	8	●●●● (専任教員・助教) が、一身上の都合により平成23年3月に退職(23)	
	国際看護学	4後		1				1				
	看護教育学	4後		1		1						
	医療安全・人間工学概論	3前		2								
	専門科目	先端医療総合講義	3,4前		2							
		英語講読	4前		1		8					
		地域ケアシステム論	3,4後		1		1					
		看護情報システム論	4後		1							
		リプロダクティブ・ヘルスケア	4後		1		1					
ファミリーサポート論		4前		1		1						
認知症ケア		3前		1		1						
リハビリテーションケア		4前		1		1						
パリアティブケア		4後		1								
小計 (63科目)		—	74	16	0	9	4	2	<del>7</del>	8		
合計 (123科目)	—	116	81	0	9	4	2	<del>7</del>	8			

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1) 授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3) 未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

<医療保健学部 看護学科>

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 68	科目 51	科目 0	科目 119	科目 68 [ 0 ]	科目 51 [ 0 ]	科目 0 [ 0 ]	科目 119 [ 0 ]	

(注)・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(注)・設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。(ただし、未開科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(注)・設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」  
「該当なし」

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	0	=	
認可時の計画の授業科目数の計	119		0.00

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<医療保健学部 臨床工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人文・社会	哲学	1前		2							
	芸術論	1前		2							
	科学論	1後		2							
	心理学	1後		2							
	倫理学	2後		2							
	宗教学	2前		2							
	政治学	1前		2							
	経済学	1前		2							
	法学	1後		2							
	コミュニケーション論	2前		2							
英語	フレッシュマンイングリッシュ I	1前	2								
	フレッシュマンイングリッシュ II	1後	2								
	英語インテンシブI	2前		1							
	英語インテンシブII	2後		1							
基礎教育科目	栄養と健康	1前		2							
	スポーツ・コンディショニング	1後		2							
	集中実技 I	1前		1							
	集中実技 II	1後		1							
コンピュータ	コンピュータリテラシー演習I	1前	1								
	コンピュータリテラシー演習II	1後	1								
	コンピュータ概論I	1前		2							
	コンピュータ概論II	1後		2							
	応用コンピュータ I	2前		2							
	応用コンピュータ II	2後		2							
	応用コンピュータ演習 I	2前		1							
	応用コンピュータ演習 II	2後		1							
人間形成	フレッシュヤーズゼミ	1通	2			5	2	3	3	0	
自然科学	医療科学の基礎 I	1前	2				1	1			
	医療科学の基礎 II	1後	2				1	1			
	生物の基礎	1前		2			1				
	化学の基礎	1後	2					1			
	物理の基礎	1後	2			1					
	数学の基礎	1前		2		1					
	統計学	2前	2			1					
小計 (34科目)		—	22	38	0	5	2	3	3	0	



<医療保健学部 臨床工学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	人体解剖学Ⅰ	1前	2			1						
	人体解剖学Ⅱ	1後	2			1						
	生命倫理	1後	2									
	生理学Ⅰ	1後	2									
	生理学Ⅱ	2前	2									
	臨床生化学	2前	2									
	臨床薬理学	2後	2									
	病理学	2後	2			1						
	臨床微生物・免疫学	2前	2									
	基礎医学実習	2前	2					2				
	医療情報演習	4後		1								
	医療経済学	2後		2								
	臨床心理学	2後	2									
	公衆衛生学	2前	2									
	システム制御工学	3前	2				1					
	電磁気学	2前	2			1						
	機械工学Ⅰ	2後	2				1					
	機械工学Ⅱ	3前	2			1						
	電気工学	2前 2後	2				1					学生への講義内容の理解度を高めるため(23)
	工学実験Ⅰ	2前	2			3	1					
	工学実験Ⅱ	2後	2			3	1					
	電子工学Ⅰ	2前	2			1						
	電子工学Ⅱ	2後	2			1						
	工学演習Ⅰ	3後	1			2	1					
	工学演習Ⅱ	4前	1			2	1					
	数学(線形代数)	1前	2			1						
	数学(微分積分)	1後	2			1						
	数学(応用解析学)	2後	2			1						
	看護学概論	1後	2									
	情報工学特論	4前		2								
	医学概論	1前	2									
小計(31科目)	—	—	54	5	0	4	1	2	0	0		
専門科目	医用物性材料工学	3後	2				1					
	医用治療機器学	3前	2				1					
	医用画像工学	3前	2			1						
	医療機器安全管理学	3前	2									
	医療機器安全管理学実習	3後	2						2	2		
	生体計測機器学	3前	2			1						
	医用機器実習	3後	2						2	2		
	血液浄化装置学	3前	2						1			
	呼吸療法装置学	3前	2						1			
	体外循環装置学	3後	2			1						
	生体機能代行装置実習Ⅰ	3前	2						3	2		
	生体機能代行装置実習Ⅱ	3後	2						3	2		
	医療安全・人間工学概論	4前	2			1						
	臨床工学セミナー	4前	2						1			
	臨床実習	3後	4						4	2		
	内科系臨床医学Ⅰ	2前	2									
	外科系臨床医学Ⅰ	2後 2前	2			1						学生への講義内容の理解度を高めるため(23)
	内科系臨床医学Ⅱ	3前	2									
	外科系臨床医学Ⅱ	3後	2			1						
	専門演習Ⅰ	4後		1						3	2	
	専門演習Ⅱ	4後		1						2	2	
	卒業研究Ⅰ	4前	2				5	2	3	3		
	卒業研究Ⅱ	4後	2				5	2	3	3		
	先端医療総合講義	4後		2		1						
小計(24科目)	—	—	44	4	0	5	2	3	4	2		
合計(89科目)	—	—	120	47	0	5	2	3	4	2		

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1)授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3)未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

<医療保健学部 臨床工学科>

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
61	28	0	89	61	28	0	89	
				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[ ]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。（ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」  
 「該当なし」

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	0	=	
認可時の計画の授業科目数の計	89		0.00

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<医療保健学部 理学療法学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人文・社会	哲学	1前		2							
	芸術論	1前		2							
	科学論	1後		2							
	心理学	1後		2							
	倫理学	2後		2							
	宗教学	2前		2							
	政治学	1前		2							
	経済学	1前		2							
	法学	1後		2							
	コミュニケーション論	2前		2							
英語	フレッシュマンイングリッシュ I	1前	2								
	フレッシュマンイングリッシュ II	1後	2								
	英語インテンシブI	2前		1							
	英語インテンシブII	2後		1							
基礎教育科目	栄養と健康	1前		2							
	スポーツ・コンディショニング	2後		2							
	集中実技 I	1前		1							
	集中実技 II	1後		1							
	コンピュータリテラシー演習I	1前	1								
	コンピュータリテラシー演習II	1後		1							
	コンピュータ概論I	1前	2								
	コンピュータ概論II	1後		2							
	応用コンピュータ I	2前		2							
	応用コンピュータ II	2後		2							
人間形成	フレッシュャーズゼミ	1通	2			3	4	3			
	医療科学の基礎 I	1前	2								
自然科学	医療科学の基礎 II	1後		2							
	生物の基礎	1前		2							
	化学の基礎	1後		2							
	物理の基礎	1後	2								
	数学の基礎	1前		2							
	統計学	2前		2							
小計 (34科目)		—	13	47	0	3	4	3	0	0	

<医療保健学部 理学療法学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	人体構造学Ⅰ	1前	2									
	人体構造学Ⅱ	1後	2									
	解剖学実習Ⅰ	1後	1									
	解剖学実習Ⅱ	2前	1									
	生理学Ⅰ	1前	2									
	生理学Ⅱ	1後	1									
	生理学実習	2前	1									
	キネシオロジー	1後	2				1	1				
	キネシオロジー演習	2前	1				1	1	1			
	クリニカル・キネシオロジー演習	3前	1					1			1	
	人間発達学	1後	2									
	病理・組織学演習	2前	1									
	臨床薬理学	2後		2								
	病理学	2前	1									
	臨床微生物・免疫学	2前	2									
	臨床心理学	2後		2								
	一般臨床医学	2後	2				1					
	整形外科学	2前	2									
	精神医学	2前	2									
	神経内科学	2前	2				1					
	小児科学	2後	2									
	栄養代謝学	3前		1								
	老年医学	3後	2									
	画像評価学	2後	1									
	リハビリテーション工学	2後	2					1				
	リハビリテーション医学	2後	2				1					
	生命倫理	1後		2								
	医学概論	1前		2								
	家族社会学	2前		2								
	医療経済学	2後		2								
	公衆衛生学	3前	1									
	医療情報演習	4後		1								
小計(32科目)		—	38	14	0	2	1	1	1	0		

<医療保健学部 理学療法学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	理学療法入門	1前	2			0 —1	1	1	1		●●●●が平成21年11月に死亡のため、担当が「可」となっている他の教員で実施。担当教員が複数いるため支障はない(22)
	理学療法研究	3後	1			1	1	1			
	先端医療総合講義	4後		2							
	医療安全・人間工学概論	3後		2							
	理学療法総合演習	4前	1			1	1	1			
	理学療法ゼミ	4前	1			2	2				
	リスク管理論	3後	2								
	理学療法マネジメント論	4前		1							
	卒業研究	4通	4			4	4	3			
	機能・能力測定	1後	2						1		
	機能・能力測定演習	1後	1			1		1	1		
	運動器系理学療法評価学	2前	2			1	1				
	神経系理学療法評価学	2後	2				1	1			
	内部障害系理学療法評価学	2後	2			1					
	運動療法	2前	2			1					
	運動療法実習	2後	1			1		1			
	物理療法	3前	2				1				
	物理療法実習	3後	1				1				
	神経系理学療法学	3前	2				1				
	神経系理学療法学実習	3後	1					1			
	運動器系理学療法学	3前	2				1				
	運動器系理学療法学実習	3後	1			1	1				
	内部障害系理学療法学	3前	2					1			
	内部障害系理学療法学実習	3後	1			1		2			
	義肢装具学演習	3前	1				1				
	義肢装具学実習	3後	1				1				
	老年期理学療法学	3前	2				1				
	発達障害系理学療法学演習	3前	1					1	1		
	マニュアルセラピー	3後	1					1			
	マニュアルセラピー実習	3後	1			1					
	スポーツ科学理学療法学演習	3前	1			1					
	日常生活活動論	2後	2				1				
	日常生活活動論実習	3後	1				1		1		
	生活環境学	3前		1			1				
	地域理学療法学	4後	2						0 —1		当初、●●●●（助教）が担当することを予定していたが、教員審査の判定が「不可」となったため、科目開設までに専任教員を補充する(22)
	住宅環境論	4前		1					0 —1		当初、●●●●（助教）が担当することを予定していたが、教員審査の判定が「不可」となったため、科目開設までに専任教員を補充する(22)
	臨床実習Ⅰ（見学）	1前	1			1 —2			1	1	●●●●が平成21年11月に死亡のため、担当が「可」となっている他の教員で実施。担当教員が複数いるため支障はない(22)
	臨床実習Ⅱ（検査測定）	2後	1			1 —2			1	1	●●●●が平成21年11月に死亡のため、担当が「可」となっている他の教員で実施。担当教員が複数いるため支障はない(22)
	臨床実習Ⅲ（評価）	3後	4				2		1	1	
	臨床実習Ⅳ（インターン）	4通	12			1	1		1	1	
小計（40科目）	—	66	7	0	4 —5	4	3	4	1		
合計（106科目）	—	117	68	0	4 —5	4	3	4	1		

- (注)
- ・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
  - ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成22年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「（1）授業科目表」にはその状況を反映させてください。（ただし、「（3）未開講科目」欄には記載する必要はありません）。

<医療保健学部 理学療法学科>

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
66	40	0	106	66	40	0	106	
				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

(注)・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[ ]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注)・設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。（ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注)・設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「該当なし」

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	0	=	
認可時の計画の授業科目数の計	106		0.00

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。



<医療保健学部 作業療法学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎教育科目	哲学	1前		2									
	芸術論	1前		2									
	科学論	1後		2									
	心理学	1後		2									
	倫理学	2後		2									
	宗教学	2前		2									
	政治学	1前		2									
	経済学	1前		2									
	法学	1後		2									
	コミュニケーション論	2前		2									
	英語	フレッシュマンイングリッシュ I	1前	2									
		フレッシュマンイングリッシュ II	1後	2									
		英語インテンシブI	2前		1								
		英語インテンシブII	2後		1								
	心身ウェルネス	栄養と健康	1前		2								
		スポーツ・コンディショニング	2後		2								
		集中実技 I	1前		1								
		集中実技 II	1後		1								
	コンピュータ	コンピュータリテラシー演習I	1前	1									
		コンピュータリテラシー演習II	1後		1								
		コンピュータ概論I	1前	2									
		コンピュータ概論II	1後		2								
		応用コンピュータ I	2前		2		1						
		応用コンピュータ II	2後		2		1						
		応用コンピュータ演習 I	2前		1		1						
		応用コンピュータ演習 II	2後		1		1						
	人間形成	フレッシュヤーズゼミ	1通	2			4	3	0	0	0		
	自然科学	医療科学の基礎 I	1前	2					1				
		医療科学の基礎 II	1後		2				1				
		生物の基礎	1前		2								
		化学の基礎	1後		2								
		物理の基礎	1後		2								
		数学の基礎	1前		2								
		統計学	2前		2								
小計 (34科目)			11	49	0	4	3	1	0	0			

<医療保健学部 作業療法学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	人体構造学Ⅰ	1前	2									
	人体構造学Ⅱ	1後	2									
	解剖学実習Ⅰ	1後	1									
	解剖学実習Ⅱ	2前	1									
	生理学Ⅰ	1前	2									
	生理学Ⅱ	1後	1									
	生理学実習	2前	1									
	病理・組織学演習	2前	1									
	臨床薬理学	2後		2								
	病理学	2前	1									
	臨床微生物・免疫学	2前	2			1						
	臨床心理学	2後	2									
	公衆衛生学	2前	1									
	一般臨床医学	2後	2									
	整形外科学	2前	2									
	精神医学	2前	2									
	神経内科学	2前	2									
	小児科学	2後	2									
	リハビリテーション医学	2後	2									
	栄養代謝学	3前		1					1			
	人間発達学	1後	2					1				
	老年医学	3後	2				1					
	家族社会学	2前		2								
	運動学	1後	2									
	運動学実習	2前	1				1					
	臨床運動学演習	3前	1				1					
	コミュニケーション演習	1後 1前	1				1					「コミュニケーション実習」を1年次前期に変更したため、学生の負担を考慮して、1年前期から1年後期に変更(22)
	コミュニケーション実習	1前 1後	2				1					学外での実習を中心に行うため、実習先の都合により、開講期を1年後期から1年前期に変更(22)
	医療情報演習	4後		1								
	医療経済学	2後		2								
	リハビリテーション工学	3前	2									
	生命倫理	1後		2								
	医学概論	1前		2			1					
	画像評価学	2後		1								
	文章表現リテラシー	1後	1									
小計(35科目)	—		43	13	0	4	1	1	0	0		

<医療保健学部 作業療学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	単位	教授	准教授	講師	助教		助手
専門科目	身体障害作業療法学Ⅰ（神経系）	2後	1			1	1					
	身体障害作業療法学Ⅱ（筋骨格系）	2後	1				2				1	
	身体障害作業療法学Ⅲ（全身性障害）	3前	1			1	2				1	
	身体障害作業療法学Ⅳ（外傷熱傷）	3後	1				2			0 — 1	2	当初、●●●●（助教）が担当することを予定していたが、教員審査の判定が「不可」となったため、科目開設までに専任を補充する（22）
	身体障害作業療法学Ⅴ（老年期障害）	3前	1				1					
	身体障害作業療法学Ⅵ（感覚器その他）	3後	1				2				1	
	身体障害作業療法学総論	2前	2			1					1	
	高次脳機能障害作業療法学	3後	2							0 — 1	1	当初、●●●●（助教）が担当することを予定していたが、教員審査の判定が「不可」となったため、科目開設までに専任を補充する（22）
	義肢装具学	3前	2			1					1	
	精神障害作業療法学各論Ⅰ（治療技法別）	2後	1			1					1	
	精神障害作業療法学各論Ⅱ（疾患・障害別）	3後	1								1	
	精神障害作業療法学総論	2前	2								1	
	発達障害作業療法学演習Ⅰ	3前	1				1					
	発達障害作業療法学演習Ⅱ	3後	1				1					
	老年期障害作業療法学総論	3後	1				1					
	作業療法管理学	4後		1			1					
	職業前関連活動学	4後		1			2					
	地域作業療法学Ⅰ（身体障害・老年期障害）	3後	1			1				0 — 1	1	当初、●●●●（助教）が担当することを予定していたが、教員審査の判定が「不可」となったため、科目開設までに専任を補充する（22）
	地域作業療法学Ⅱ（精神障害・発達障害）	3後	1				1				1	
	作業療法学概論	1後	2			2						
	基礎作業療法技法実習Ⅰ	1後	2									
	基礎作業療法技法実習Ⅱ	2前	2			1						
	作業解析学演習	3前	1				1			1		
	心理社会的機能作業療法評価学演習	2前	2			1				1		
	心理社会的障害日常生活活動学演習	3前	1									
	先端医療総合講義	4後		2								
	医療安全・人間工学概論	3前		2								
	臨床講座Ⅰ	2後	1				2				2	
	臨床講座Ⅱ	3後	1				2				2	
	臨床見学	<del>2後</del> 2前	1							1	2	学外での実習を中心に行うため、実習先の都合により、開講期を2年前期から2年後期に変更(23)
	臨床実習Ⅰ（評価実習）	2後	2				1			1	2	
	臨床実習Ⅱ（評価実習）	3前	2				1			1	2	
	臨床実習Ⅲ（総合実習）	3後・4前	8				2				2	
	臨床実習Ⅳ（総合実習）	3後・4前	8				1			1	2	
	作業療法セミナーⅠ	4後		1			1				2	
	作業療法セミナーⅡ	4後		1						1	2	
	作業療法セミナーⅢ	4後		1			1					
	作業療法セミナーⅣ	4後		1								
	作業療法研究法	3後	2			1						
	作業療法卒業研究	4通	4			5	3				2	
小計（40科目）	—	60	10	0	5	3	0	3	3	2		
合計（109科目）	—	114	72	0	5	3	1	3	2			

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任, 兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で, 前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し, 「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
なお, 昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で, 専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては, 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には, 「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について, 設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても, 設置認可時の状況を黒字で記載してください。また, 前年度報告時より修正があれば, 赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても, 「(1) 授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし, 「(3) 未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

<医療保健学部 作業療法学科>

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
65	44	0	109	65	44	0	109	
				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

(注)・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[ ]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(注)・設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。（ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(注)・設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「該当なし」

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	0	=	
認可時の計画の授業科目数の計	109		0.00

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	【区分：共用】 ①蒲田 日本工学院専門学校 との共用： 収容定員5940人 基準面積 なし 共用の合計 20,693.00㎡のうち、 借用面積31.29㎡ 借用期間 平成21年4月1日 ～51年3月31日 ②八王子 日本工学院八王子専 門学校との共用： 収容定員5640人 基準面積 なし 【区分：共用する他の 学校等の専用】 ①日本工学院専門学 校 ②日本工学院八王子 専門学校 運動場用地と校舎敷 地との所要時間は、 電車約65分、自動車 約120分である。	
	校 舎 敷 地	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 365,355.51㎡ ① 20,693.00㎡ ② 344,662.51㎡	計 6,292.19㎡ ① 6,292.19㎡ ② 0㎡	計 371,647.70㎡ ① 26,985.19㎡ ② 344,662.51㎡		
	運 動 場 用 地	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 36,158.00㎡ ① 0㎡ ② 36,158.00㎡	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 36,158.00㎡ ① 0㎡ ② 36,158.00㎡		
	小 計	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 401,513.51㎡ ① 20,693.00㎡ ② 380,820.51㎡	計 6,292.19㎡ ① 6,292.19㎡ ② 0.00㎡	計 407,805.70㎡ ① 26,985.19㎡ ② 380,820.51㎡		
	そ の 他	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡		
	合 計	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 401,513.51㎡ ① 20,693.00㎡ ② 380,820.51㎡	計 6,292.19㎡ ① 6,292.19㎡ ② 0㎡	計 407,805.70㎡ ① 26,985.19㎡ ② 380,820.51㎡		
(2) 校 舎	専 用	計 134,931.610㎡ ① 25,057.260㎡ ② 109,874.350㎡	計 40,970.610㎡ ① 9,279.950㎡ ② 31,690.660㎡	計 102,599.660㎡ ① 53,606.720㎡ ② 48,992.940㎡	計 278,501.880㎡ ① 87,943.930㎡ ② 190,557.950㎡	【区分：専用】 ①蒲田 ②八王子 【区分：共用】 ①日本工学院専門学 校との共用： 収容定員5940人 基準面積16,400㎡ 借用面積31.29㎡ 借用期間 平成21年4月1日 ～51年3月31日 ②日本工学院八王子 専門学校との共用： 収容定員5640人 基準面積16,040㎡ 【区分：共用する他の 学校等の専用】 ①日本工学院専門学 校 ②日本工学院八王子 専門学校	
		(計 130,409.440㎡ ① 20,535.090㎡ ② 109,874.350㎡)	(計 40,970.610㎡ ① 9,279.950㎡ ② 31,690.660㎡)	(計 126,118.940㎡ ① 77,126.000㎡ ② 48,992.940㎡)	(計 297,498.990㎡ ① 106,941.040㎡ ② 190,557.950㎡)		
(3) 教 室 等	講 義 室	計 72室 ① 17室 ② 55室	演 習 室 計 1室 ① 1室 ② 0室	実 験 実 習 室 計 229室 ① 40室 ② 189室	情 報 処 理 学 習 施 設 計 6室 ① 6室 ② 0室 (補助職員 人)	語 学 学 習 施 設 計 4室 ① 4室 ② 0室 (補助職員 人)	大学全体 ①蒲田 ②八王子
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			・デザイン学部の教員研 究室は、職位にかかわら ず共同研究室 ・医療保健学部の教員研 究室は、教授、准教授は 個室、講師、助教及び助 手は共同研究室	
	デザイン学部		10 室				
医療保健学部		46 室					

区 分		内 容					備 考		
図書・設備	(5) 新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	「大学全体の共用分(機械・器具、標本を除く)」 ・八王子図書館 八王子図書館からの移管図書(和書) 2,911冊を医療保健学部とデザイン学部に按分して記載	
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル					
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点			
	デザイン学部	7,691 [ 300]	52 [ 10]	1 [ 1]	180	8,574	0		
		4,343 89 (3,273 [-60])	86 13 (-52 [-10])	3 3 (-1 [-1])	89 (-36)	4,689 (-4,610)	( 0 )		
	医療保健学部 看護学科	4,445 [ 380]	23 [ 9]	5 [ 5]	92				
		4,429 484 (3,485 [-300])	35 10 (-23 [-9])	6 6 (-5 [-5])	34 (-28)				
	医療保健学部 臨床工学科	2,565 [ 180]	23 [ 9]	5 [ 5]	92	13,015	113		
	2,150 131 (1,985 [-100])	( 23 [ 9] )	( 5 [ 5] )	( 40 (-28) )	7,156 (-7,238)	128 (-106)			
医療保健学部 理学療法学科	2,055 [ 90]	17 [ 7]	5 [ 5]	67					
	1,754 19 (1,495 [-10])	19 (-17 [-7])	( 5 [ 5] )	( 34 (-19) )					
医療保健学部 作業療法学科	1,813 [ 90]	17 [ 7]	5 [ 5]	68					
	1,504 12 (1,253 [-10])	25 11 (-17 [-7])	( 9 [ 9] )	( 23 (-20) )					
小 計	11,178 [740]	80 [ 32]	20 [ 20]	319	13,015	113			
	9,837 646 (8,218 [-420])	102 37 (-80 [-32])	25 25 (-20 [-20])	131 (-95)	7,156 (-7,238)	128 (-106)			
計	18,869 [1,040]	132 [ 42]	21 [ 21]	449	8,574 4,689 (4,610)	0 ( 0 )			
	14,180 735 (11,491 [-480])	188 50 (-132 [-42])	28 28 (-21 [-21])	220 (-131)	13,015	113			
					7,156 (7,238)	128 (-106)			
八王子図書館	127,645 [30,404]	323 [ 83]	51 [ 46]	2,587	---	---			
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 ①蒲田 ②八王子	
		計 4,496㎡ ① 1,578㎡ ② 2,918㎡		計 854席 ① 200席 ② 654席		計 238,000冊 ① 63,000冊 ② 175,000冊			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		10,645㎡		テニスコート(5面)、50m公認プール					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費および設備購入費は、上段がデザイン学部下段が医療保健学部
		教員1人当り研究費等	600千円	1,100千円	図書購入費	14,961千円 -15,000千円 49,910千円 -50,000千円	15,000千円 13,000千円	7,940千円 13,000千円	
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	265,357千円 -277,684千円 499,914千円 -518,969千円	132,916千円 119,997千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,810千円	1,590千円	1,620千円	1,650千円	---	---		
2,100千円		1,680千円	1,716千円	1,750千円	---	---			
学生納付金以外の維持方法の概要		検定料収入、手数料収入、資産運用収入、事業収入をもって支弁する。							

- (注) ・ 設置認可時の計画を認可申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
- ・ 複数のキャンパスに分かれている場合は、キャンパス毎に作成してください。
  - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(22)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、《別紙様式2》により、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。



#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	東京工科大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入定 学員 人	編入学 定員 人	収容 定員 人	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所在地	
応用生物学部 応用生物学科	4 年	240 人	2年次 18人 3年次 9人	1,032 人	学士 (バイオニクス)	1.23 倍	平成15年度	東京都 八王子市 片倉町 1404-1	平成20年4月入学者から、バイオニクス学部バイオニクス学科の名称を、応用生物学部応用生物学科に変更した。
コンピュータサイエンス学部 コンピュータサイエンス学科	4	480	2年次 18人 3年次 12人	1,998	学士 (コンピュータサイエンス)	1.21	平成15年度		
メディア学部 メディア学科	4	400	2年次 27人 3年次 12人	1,705	学士 (メディア学)	1.19	平成11年度		

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・認可申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
- ・「定員超過率」には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)の記載は不要です。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<デザイン学部 デザイン学科>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
専	教授(学部長)	ミヤタ ヤスヒロ 宮下 安弘	平成22年4月	デザイン概説Ⅰ(基礎) ※ 感性演習Ⅰ(描く) 感性演習Ⅱ(描く) 映像と構成専門研究 映像と構成卒業研究						
専	教授	クモト キョウジ 楠元 恭治	平成23年4月	デザイン論 デザイン史 デザイン概説Ⅱ(応用) ※ 広告論 視覚と伝達専門演習Ⅰ 視覚と伝達専門演習Ⅱ 視覚と伝達専門研究 視覚と伝達卒業研究	専	教授	後任未定 及部 克人	平成23年4月	デザイン論 デザイン史 デザイン概説Ⅱ(応用) ※ 広告論 視覚と伝達専門演習Ⅰ 視覚と伝達専門演習Ⅱ 視覚と伝達専門研究 視覚と伝達卒業研究	●●●●の後任として及部克人を専任・教授として採用。 平成22年9月教員審査済(23) 平成22年2月●●●●就任辞退のため(22) 「後任未定」平成23年4月から専任教員採用予定で選考中
兼任	講師	クモト キョウジ 楠元 恭治	平成22年4月	デザイン論	専	准教授	石橋 宏	平成22年4月	デザイン史	平成22年2月●●●●辞退のため平成22年度の担当者を変更(22)
				デザイン史	専	教授	若林 尚樹	平成22年4月	デザイン概説Ⅱ(応用) ※	
				デザイン概説Ⅱ(応用) ※	専	准教授	伊藤 丙雄	平成22年4月	広告論	
専	教授	ヨコカミ ショウジ 横川 昇二	平成23年4月	デザイン概説Ⅱ(応用) ※ 色彩応用論 企業研究 空間デザイン論 地域とデザイン スキル演習Ⅱ(空間シミュレーション) 空間と演出専門演習Ⅰ 空間と演出専門演習Ⅱ 空間と演出専門研究 空間と演出卒業研究					視覚と伝達専門演習Ⅰ	
兼任	講師	ヨコカミ ショウジ 横川 昇二	平成22年4月	デザイン概説Ⅱ(応用) ※					視覚と伝達専門演習Ⅱ	
専	教授	ヤマカミ シュンペイ 山岡 俊平	平成22年4月	デザイン概説Ⅰ(基礎) ※ 空間構成論 感性演習Ⅰ(関係づける) 感性演習Ⅱ(関係づける) 空間と演出専門研究 空間と演出卒業研究						視覚と伝達専門研究
専	教授	タケモト マサシ 竹本 正壽	平成22年4月	デザイン概説Ⅱ(応用) ※ 映像論 CM表現論 スキル演習Ⅰ(イメージデザイン) 映像と構成専門演習Ⅰ 映像と構成専門演習Ⅱ 映像と構成専門研究 映像と構成卒業研究						視覚と伝達卒業研究
専	教授	クロカミ シュウイチ 黒川 修一	平成22年4月	芸術論 美術史 企画と展示						
専	教授	タカハシ キヨシ 高橋 潔	平成22年4月	コンピュータリテラシーⅠ コンピュータ概論Ⅰ コンピュータ概論Ⅱ						

<デザイン学部 デザイン学科>

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
専	教授	カバヤシ ナオキ 若林 尚樹	平成22年4月	インターアクションデザイン スキル演習Ⅱ(インタラクティブWebデザイン) 視覚と伝達専門研究 視覚と伝達卒業研究						
専	教授	タカ スミ 田中 寿美 (旧姓 勝浦) (カウチ)	平成22年4月	フレッシュマンイングリッシュⅠ フレッシュマンイングリッシュⅡ 英語インテンシブⅠ 英語インテンシブⅡ 英語インテンシブⅢ 英語インテンシブⅣ						
専	准教授	イハシ ヒロシ 石橋 宏 (作家名:暮沢剛巳) (クササキ ケミ)	平成22年4月	デザインと社会論 編集論 現代アート論						
専	准教授	イトウ アサオ 伊藤 丙雄	平成22年4月	伝達論 ビクトグラムデザイン スキル演習Ⅰ(タイポグラフィ) 視覚と伝達専門演習Ⅰ 視覚と伝達専門演習Ⅱ 視覚と伝達専門研究 視覚と伝達卒業研究						
専	准教授	イトウ ヒデアキ 伊藤 英高	平成23年4月	構成論 メディアアート 映像と構成専門演習Ⅰ 映像と構成専門演習Ⅱ 映像と構成専門研究 映像と構成卒業研究						
専	准教授	サカ コウイチ 酒百 宏一	平成22年4月	デザイン概説Ⅰ(基礎) ※ プレゼンテーション技法 感性演習Ⅰ(伝える) 感性演習Ⅱ(伝える) 視覚と伝達専門研究 視覚と伝達卒業研究						
専	准教授	ホンゴウ シンジ 本郷 信二	平成22年4月	デザイン概説Ⅰ(基礎) ※ 素材と加工 感性演習Ⅰ(つくる) 感性演習Ⅱ(つくる) 空間と演出専門研究 空間と演出卒業研究						
専	准教授	マツムラ セイイチロウ 松村 誠一郎	平成22年4月	デザイン概説Ⅰ(基礎) ※ コンピュータリテラシーⅡ サウンドデザイン論 スキル演習Ⅱ(サウンドデザイン) 映像と構成専門研究 映像と構成卒業研究						
専	准教授	ミヤエト ミエ 宮元 三恵	平成22年4月	図法および製図Ⅱ(応用) 空間と演出専門演習Ⅰ 空間と演出専門演習Ⅱ 空間と演出専門研究 空間と演出卒業研究						
専	講師	カトウ カズハ 加藤 一葉	平成23年4月	情報デザイン論 スキル演習Ⅰ(DTP) スキル演習Ⅱ(エディトリアルデザイン) 視覚と伝達専門研究 視覚と伝達卒業研究						

<デザイン学部 デザイン学科>

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
専	講師	スエヲ シノ 末房 志野	平成23年4月	イラストレーション論 スキル演習Ⅰ(イラストレーション) 視覚と伝達専門演習Ⅰ 視覚と伝達専門演習Ⅱ 視覚と伝達専門研究 視覚と伝達卒業研究						
専	講師	サイ タダシ 酒井 正	平成23年4月	図法および製図Ⅰ(基礎) 動体構成論 感性演習Ⅰ(つくる) 感性演習Ⅱ(つくる) 空間と演出専門研究 空間と演出卒業研究						
兼任	講師	サイ タダシ 酒井 正	平成22年4月	感性演習Ⅰ(つくる)						
専	講師	ナカシマ ケンタ 中島 健太	平成22年4月	デザイン概説Ⅰ(基礎) ※ アニメーション論 感性演習Ⅰ(描く) 感性演習Ⅱ(描く) スキル演習Ⅱ(アニメーション) 映像と構成専門研究 映像と構成卒業研究						
専	講師	タムラ コロロ 田村 吾郎	平成22年4月	演出論 スキル演習Ⅱ(プロダクトシミュレーション) 空間と演出専門演習Ⅰ 空間と演出専門演習Ⅱ 空間と演出専門研究 空間と演出卒業研究						
専	講師	オオニ ケイタ 大西 景太	平成22年4月	色彩概論 スキル演習Ⅱ(映像編集) 映像と構成専門演習Ⅰ 映像と構成専門演習Ⅱ 映像と構成専門研究 映像と構成卒業研究						
専	助教	ケン セイホ 玄 世峰	平成22年4月	スキル演習Ⅰ(画像加工) 視覚と伝達専門演習Ⅰ 視覚と伝達専門演習Ⅱ 視覚と伝達専門研究 視覚と伝達卒業研究						
専	助教	イタミ トモキ 板宮 朋基	平成22年4月	スキル演習Ⅱ(プロダクトシミュレーション) スキル演習Ⅱ(空間シミュレーション) 空間と演出専門研究 空間と演出卒業研究						
専	助教	フサザキ ケンサク 深澤 健作	平成22年4月	感性演習Ⅰ(描く) 感性演習Ⅱ(描く) 映像と構成専門研究 映像と構成卒業研究						
兼任	教授	ヤマウラ トシオ 山浦 富雄	平成22年4月	統計学 物理の基礎 数学の基礎						
兼任	教授	イトウ マサヒロ 工藤 昌宏	平成22年4月	経済学						
兼任	教授	チカラ ヒロキ 千代倉 弘明	平成24年9月	CAD設計論						
兼任	教授	オウ マサヒロ 奥 正廣	平成22年4月	心理学 コミュニケーション論 認知心理学						

<デザイン学部 デザイン学科>

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
兼任	教授	コントウ クニオ 近藤 邦雄	平成23年4月	数理造形						
兼任	教授	オサキ ヒロユキ 尾崎 弘之	平成24年9月	経営・経済論						
兼任	教授	タケノ マサヒロ 竹田 昌弘	平成24年4月	マネジメント						
兼任	教授	メグロ ラモン 目黒 良門	平成24年4月	マーケティング論						
兼任	教授	サカ ユウジ 佐久間 裕司	平成22年4月	スポーツ・コンディショニング 集中実技Ⅱ						
兼任	准教授	オチアイ コウタロウ 落合 浩太郎	平成22年4月	政治学						
兼任	准教授	マツイ タイジ 松井 泰二	平成22年4月	栄養と健康 集中実技Ⅰ						
兼任	准教授	ミヤチ ヒロカ 宮地 寛登	平成22年4月	生物の基礎						
兼任	講師	ムラカミ ヤスシロウ 村上 康二郎	平成22年4月	法学						
兼任	講師	シズミ ミフミ 志水 美文 (旧姓 下村) (シモムラ)	平成22年9月	環境と科学 化学の基礎						
兼任	講師	オノボリ セイイチ 尾登 誠一	平成23年9月	プロダクトデザイン論						
兼任	講師	トクモト コトヨ 徳元 琴代	平成22年9月	科学論						
兼任	講師	カサハラ ノブアキ 鶴澤 信明	平成24年4月	スキル演習Ⅱ(映像撮影技法)						
兼任	講師	ナカガワ アキヒロ 中川 明博	平成22年4月	哲学						
兼任	講師	ナカムラ スケル 中村 卓	平成23年9月	写真論						
兼任	講師	マトバ シゲオ 的場 成夫	平成24年4月	知的財産論						
兼任	講師	キヨタ カズキ 清田 一樹	平成23年4月	スキル演習Ⅰ(写真撮影技法)						
兼任	講師	ニシマキ ジョウジ 西巻 丈児	平成23年9月	倫理学						
兼任	講師	キム サンテ 金 尚泰	平成23年9月	コンピュータグラフィックス論						
兼任	講師	イハラ ジロウ 石原 次郎	平成23年4月	スキル演習Ⅰ(グラフィックプログラミング)	兼任	講師	ハヤシ マサカズ 早瀬 将一	平成23年4月	スキル演習Ⅰ(グラフィックプログラミング)	平成23年3月●●●●(兼任・講師) 辞任のため平成23年度より担当者の変更(23)
兼任	講師	エガワ ジュンイチ 江川 純一	平成23年4月	宗教学						
兼任	講師	ヤノ リン 矢野 りん	平成23年4月	スキル演習Ⅰ(Webページデザイン)						

<デザイン学部 デザイン学科>

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
兼任	講師	ミッシェル ボッチネク Michelle Bochenek	平成22年4月	フレッシュマンイングリッシュ I フレッシュマンイングリッシュ II						
兼任	講師	マイケル モンデジャー Michael Mondejar	平成22年4月	フレッシュマンイングリッシュ I フレッシュマンイングリッシュ II						
兼任	講師	マシュー リビングストーン Matthew Livingston	平成23年4月	英語インテンシブ I 英語インテンシブ II						
兼任	講師	アイーシャ アリ Iyshea Ali	平成23年4月	英語インテンシブ I 英語インテンシブ II						

- (注) ・認可申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・年齢は、「認可時の計画」には開設時現在の満年齢(科目就任時の満年齢ではありません)を、「変更状況」には平成23年5月1日現在の満年齢を記入してください。
  - ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
  - ・また、「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出し、教員判定の結果が出ていない場合は「〇年〇月変更書提出済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
  - ・なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。
  - ・専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。

<デザイン学部 デザイン学科>

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
9	7	6	3	25	0	9	7	6	3	25	0	
( 7 )	( 6 )	( 3 )	( 3 )	( 19 )	( 0 )	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

(注) ・「認可時の計画」には、設置認可時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ] 内に設置認可時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1	教授	●●●●	平成22年2月、健康上の理由により、平成22年度の兼任教員及び平成23年度からの専任教員の就任を辞退。

(注) ・設置認可時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>●●●●が担当することになっていたそれぞれの科目については、他の専任教員が対応するなどして認可時の計画どおり全科目を開講していることから、特に支障はないと考える。(22)</p> <p>●●●●の後任として、平成23年4月から、及部克人が専任教員(教授)として就任し、それぞれの科目を担当していることから、認可時の計画通り全科目を開講している。(23)</p>
---

(注) ・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

<医療保健学部 看護学科>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
専	教授 (学科長)	ササキ ジュンコ 佐々木 順子	平成22年4月	フレッシュヤーズゼミ 保健医療福祉論 公衆衛生学 疫学 地域看護学概論 健康学習論 地域看護学Ⅰ(地域看護学方法論)※ 地域看護学Ⅱ(対象別保健活動の展開)※ 地域看護学実習 地域ケアシステム論 看護研究 英語講読 統合看護実習 卒業研究						
専	教授	オミヤ アキコ 奥宮 暁子	平成24年4月	フレッシュヤーズゼミ 成人看護学Ⅰ(周手術期ケア・クリティカルケア)※ 成人看護学Ⅱ(生活調整・生活再構築)※ 成人看護技術演習 成人看護学実習 リハビリテーションケア 看護研究 英語講読 統合看護実習 卒業研究						
専	教授	サイトウ シゲコ 齊藤 茂子	平成22年4月	フレッシュヤーズゼミ 看護学概論 基礎看護技術Ⅰ(看護共通技術) 基礎看護技術Ⅱ(日常生活の援助技術Ⅰ) 基礎看護技術Ⅲ(日常生活の援助技術Ⅱ) 基礎看護技術Ⅳ(診療の援助技術) 基礎看護学実習Ⅰ(人間形成) 基礎看護学実習Ⅱ(看護過程) 英語講読 統合看護実習 看護管理学 看護研究 卒業研究						
専	教授	シバヤケイ 澁谷 恵子	平成22年4月	フレッシュヤーズゼミ 基礎看護技術Ⅰ(看護共通技術) 基礎看護技術Ⅱ(日常生活の援助技術Ⅰ) 基礎看護技術Ⅲ(日常生活の援助技術Ⅱ) 基礎看護技術Ⅳ(診療の援助技術) 看護倫理 基礎看護学実習Ⅰ(人間形成) 基礎看護学実習Ⅱ(看護過程) 看護研究 英語講読 統合看護実習 卒業研究 看護教育学						



<医療保健学部 看護学科>

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
専	教授	カオ リョウコ 中尾 僚子	平成23年4月	フレッシュヤーズゼミ ヘルスアセスメントⅡ (Advance) 老年看護学概論Ⅱ(成人・高齢者)※ 高齢者看護学Ⅰ(高齢者の暮らしへの看護) 高齢者看護学Ⅱ(高齢者のアセスメントと看護の実際) 高齢者看護学実習 認知症ケア 看護研究 英語講読 統合看護実習 卒業研究						
専	教授	キチ タエコ 木内 妙子	平成22年4月	フレッシュヤーズゼミ 疾病治療論Ⅲ(産科・小児・精神医学)※ ヘルスアセスメントⅡ (Advance) 臨床看護学概論Ⅰ(母性・小児)※ 小児看護学Ⅰ(子どもと家族の生活支援) 小児看護学Ⅱ(病気の子どものアセスメントと看護の実際)※ 小児看護学実習 ファミリーサポート論 看護研究 英語講読 統合看護実習 卒業研究						
専	教授	コバヤシ ヨシコ 小林 美子	平成22年4月	フレッシュヤーズゼミ 精神看護学概論 精神看護学 精神看護学実習 看護研究 英語講読 統合看護実習 卒業研究						
専	教授	イカガ フミヨ 石川 ふみよ	平成22年4月	フレッシュヤーズゼミ ヘルスアセスメントⅠ (Basic) ヘルスアセスメントⅡ (Advance) 臨床看護学概論Ⅱ(成人・高齢者)※ 成人看護学Ⅰ(周手術期ケア・クリティカルケア)※ 成人看護学Ⅱ(生活調整・生活再構築)※ 成人看護技術演習 成人看護学実習 看護研究 英語講読 統合看護実習 卒業研究						
専	教授	ノザリ ミエコ 野澤 美江子	平成22年4月	フレッシュヤーズゼミ ヘルスアセスメントⅡ (Advance) 臨床看護学概論Ⅰ(母性・小児)※ 母性看護学Ⅰ(ライフステージと看護) 母性看護学Ⅱ(マタニティサイクルと看護) 母性看護学実習 リプロダクティブ・ヘルスケア 看護研究 統合看護実習 卒業研究						
専	准教授	イガシ チヨ 五十嵐 千代	平成22年4月	フレッシュヤーズゼミ 地域看護学実習 産業看護 看護研究 英語講読 統合看護実習 卒業研究						

<医療保健学部 看護学科>

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
専	准教授	アラガエ ミキ 荒添 美紀	平成23年4月	フレッシュアーズゼミ 基礎看護技術Ⅰ(看護 共通技術) 基礎看護技術Ⅱ(日常 生活の援助技術Ⅰ) 基礎看護技術Ⅲ(日常 生活の援助技術Ⅱ) 基礎看護技術Ⅳ(診療 の援助技術) 看護理論・看護過程 基礎看護学実習Ⅰ(人 間形成) 基礎看護学実習Ⅱ(看 護過程) 英語講読 統合看護実習 卒業研究				平成22年4月	フレッシュアーズゼミ 基礎看護技術Ⅰ(看護 共通技術) 基礎看護技術Ⅱ(日常 生活の援助技術Ⅰ) 基礎看護技術Ⅲ(日常 生活の援助技術Ⅱ) 基礎看護技術Ⅳ(診療 の援助技術) 看護理論・看護過程 基礎看護学実習Ⅰ(人 間形成) 基礎看護学実習Ⅱ(看 護過程) 英語講読 統合看護実習 卒業研究	平成23年4月から就任する 予定であったが、平成22 年4月から本学部専任准教 授に就任したため。 平成21年7月教員審査済。 (22)
兼任	講師	アラガエ ミキ 荒添 美紀	平成22年4月	基礎看護技術Ⅰ(看護 共通技術) 基礎看護技術Ⅱ(日常 生活の援助技術Ⅰ) 基礎看護学実習Ⅰ(人 間形成)						
専	准教授	アマノ マサミ 天野 雅美	平成24年4月	フレッシュアーズゼミ 基礎看護技術Ⅰ(看護 共通技術) 基礎看護技術Ⅱ(日常 生活の援助技術Ⅰ) 基礎看護技術Ⅲ(日常 生活の援助技術Ⅱ) 基礎看護技術Ⅳ(診療 の援助技術) 基礎看護学実習Ⅰ(人 間形成) 基礎看護学実習Ⅱ(看 護過程) 英語講読 統合看護実習 卒業研究				平成22年4月	フレッシュアーズゼミ 基礎看護技術Ⅰ(看護 共通技術) 基礎看護技術Ⅱ(日常 生活の援助技術Ⅰ) 基礎看護技術Ⅲ(日常 生活の援助技術Ⅱ) 基礎看護技術Ⅳ(診療 の援助技術) 基礎看護学実習Ⅰ(人 間形成) 基礎看護学実習Ⅱ(看 護過程) 英語講読 統合看護実習 卒業研究	平成24年4月から就任する 予定であったが、平成22 年4月から本学部専任准教 授に就任したため。 平成21年7月教員審査済。 (22)
兼任	講師	アマノ マサミ 天野 雅美	平成22年4月	基礎看護技術Ⅰ(看護 共通技術) 基礎看護技術Ⅱ(日常 生活の援助技術Ⅰ) 基礎看護技術Ⅲ(日常 生活の援助技術Ⅱ) 基礎看護技術Ⅳ(診療 の援助技術) 基礎看護学実習Ⅰ(人 間形成) 基礎看護学実習Ⅱ(看 護過程)						
専	准教授	セノ ヒロコ 妹尾 弘子	平成24年4月	フレッシュアーズゼミ 精神看護学 精神看護学実習 卒業研究 統合看護実習 英語講読				平成22年4月	フレッシュアーズゼミ 精神看護学 精神看護学実習 卒業研究 統合看護実習 英語講読	平成24年4月から就任する 予定であったが、平成22 年4月から本学部専任准教 授に就任したため。 平成21年7月教員審査済。 (22)
専	講師	コハヤシ サリ 小林 小百合	平成22年4月	フレッシュアーズゼミ 高齢者看護学Ⅰ(高齢 者の暮らしへの看護) 高齢者看護学Ⅱ(高齢 者のアセスメントと看 護の実践) 高齢者看護学実習 英語講読 統合看護実習 卒業研究						
専	講師	オウレイカ 王 麗華	平成22年4月	フレッシュアーズゼミ 在宅看護学概論 在宅看護学 在宅看護学実習 国際看護学 英語講読 統合看護実習 卒業研究						
専	助教	ミヨトモミ 三好 智美	平成23年4月	地域看護学Ⅰ(地域看 護方法論)※ 地域看護学Ⅱ(対象別 保健活動の展開)※ 地域看護学実習 統合看護実習						
専	助教	カシマ トシ 中嶋 諭	平成22年4月	小児看護学実習 統合看護実習			後任未定			平成23年3月 ●●●●専任助教が一身 上の都合により退職のた め(23) 〔後任未定〕 平成24年4月から専任教 員採用予定で選考中

<医療保健学部 看護学科>

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
専	助教	モリガネ シノブ 森實 詩乃	平成22年4月	在宅看護学実習 統合看護実習						
専	助教	ヤマモト カヨコ 山本 佳代子	平成22年4月	成人看護学Ⅰ(周手術期ケア・クリティカルケア)※ 成人看護学Ⅱ(生活調整・生活再構築)※ 成人看護技術演習 成人看護学実習 統合看護実習						
専	助教	エノトウ ジュンコ 遠藤 順子	平成22年4月	基礎看護学実習Ⅰ(人間形成) 基礎看護学実習Ⅱ(看護過程) 統合看護実習						
専	助教	ミサキ ミヨ 峯川 美弥子	平成22年4月	成人看護学Ⅰ(周手術期ケア・クリティカルケア)※ 成人看護学Ⅱ(生活調整・生活再構築)※ 成人看護技術演習 成人看護学実習 統合看護実習						
専	助教	サカモト タキコ 坂本 多喜子	平成22年4月	基礎看護学実習Ⅰ(人間形成) 基礎看護学実習Ⅱ(看護過程) 統合看護実習						
専	助教	タケナリ ヒロ 武澤 千尋	平成22年4月	地域看護学Ⅰ(地域看護方法論)※ 地域看護学Ⅱ(対象別保健活動の展開)※ 地域看護学実習 統合看護実習						
兼任	教授	ヤマウラ トモオ 山浦 富雄	平成22年4月	物理の基礎 数学の基礎 統計学						
兼任	教授	カチヨウ 加藤 洋	平成22年4月	人体構造学 病理病態学Ⅰ(総論) 病理病態学Ⅱ(各論)						
兼任	教授	シノハラ カズヒコ 篠原 一彦	平成23年4月	疾病治療論Ⅰ(外科系医学) 医療安全・人間工学概論 先端医療総合講義						
兼任	准教授	ミチヒロカ 宮地 寛登	平成22年4月	医療科学の基礎Ⅰ 医療科学の基礎Ⅱ 生物の基礎						
兼任	講師	ミナミ ジュンコ 南 順子	平成22年4月	人体構造学						
兼任	講師	シズミ ミツ 志水 美文	平成22年4月	医療科学の基礎Ⅰ 医療科学の基礎Ⅱ 化学の基礎						
兼任	教授	カマクラ ケイコ 鎌倉 恵子	平成23年9月	疾病治療論Ⅱ(内科系医学)						
兼任	教授	ヤキヰラ ノブオ 柳澤 信夫	平成22年4月	医学概論 リハビリテーション概論						
兼任	講師	カシハミ 加柴 美里	平成22年4月	医療科学の基礎Ⅰ 医療科学の基礎Ⅱ 栄養代謝学						
兼任	教授	クドウ マサヒロ 工藤 昌宏	平成22年4月	経済学						
兼任	教授	オク マサヒロ 奥 正廣	平成22年9月	心理学 コミュニケーション論						
兼任	教授	カカリ シュウイチ 黒川 修一	平成22年4月	芸術論						
兼任	教授	タカハシ キヨシ 高橋 潔	平成22年4月	コンピュータリテラシー演習Ⅰ コンピュータリテラシー演習Ⅱ コンピュータ概論Ⅰ コンピュータ概論Ⅱ						

<医療保健学部 看護学科>

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
兼任	教授	サカ ユウジ 佐久間 裕司	平成22年9月	スポーツ・コンディショニング 集中実技Ⅱ						
兼任	教授	オサキ ヒロキ 尾崎 弘之	平成23年9月	医療経済学						
兼任	教授	タカ スミ 田中 寿美	平成22年4月	フレッシュマンイングリッシュⅠ フレッシュマンイングリッシュⅡ 英語インテンシブⅠ 英語インテンシブⅡ						
兼任	准教授	オハイ コウタロウ 落合 浩太郎	平成22年4月	政治学						
兼任	准教授	マツイ タツジ 松井 泰二	平成22年4月	栄養と健康 集中実技Ⅰ						
兼任	講師	ムカミ ヤスシロウ 村上 康二郎	平成22年9月	法学						
兼任	助教	シホ トシヒロ 新保 年弘	平成23年9月	臨床工学演習						
兼任	教授	ハシノ サトシ 橋野 賢	平成23年4月	応用コンピュータⅠ 応用コンピュータⅡ 応用コンピュータ演習Ⅰ 応用コンピュータ演習Ⅱ						
兼任	教授	ヤノ カズヨシ 矢野 和義	平成23年4月	臨床微生物・免疫学						
兼任	講師	フクダ ジュン 福田 潤	平成22年9月	人体機能学						
兼任	講師	キムラ タカ 木村 賛	平成23年4月	人間学						
兼任	講師	コイケ カズコ 小池 和子	平成24年4月	健康環境論						
兼任	講師	サトウ カズエ 佐藤 和恵	平成23年9月	臨床薬理学						
兼任	講師	タケミ ユウジ 垂水 雄二	平成22年9月	生命倫理						
兼任	講師	タカヤキ カズエ 高柳 和江	平成22年4月	癒しのケア学						
兼任	講師	ヤマザキ タツエ 山崎 達枝	平成25年9月	災害看護学						
兼任	講師	トクモト コトヨ 徳元 琴代	平成22年9月	科学論						
兼任	講師	カワガチ カキス 川口 孝泰	平成23年4月	看護工学						
兼任	講師	タケウチ シンイチ 竹内 真一	平成23年9月	画像評価学						
兼任	講師	ヤマカワ ユリコ 山川 百合子	平成23年4月	疾病治療論Ⅲ(産科・小児・精神医学)※						
兼任	講師	イシガキ キョウコ 石垣 恭子	平成24年4月	医療・看護情報学 看護情報システム論						
兼任	講師	キチ アキラ 菊地 陽	平成23年4月	疾病治療論Ⅲ(産科・小児・精神医学)※	兼任	講師	カワガチ ヒロキ 川口 裕之	平成23年4月	疾病治療論Ⅲ(産科・小児・精神医学)※	平成23年3月 ●●●兼任・講師が辞任のため、平成23年度より担当者の変更(23)
兼任	講師	ナカガワ アキヒロ 中川 明博	平成22年4月	哲学						

<医療保健学部 看護学科>

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
兼任	講師	オチヲ エロ 大澤 栄子	平成23年9月	感染制御ケア						
兼任	講師	ソデモト タケオ 袖本 武男	平成23年4月	疾病治療論Ⅲ(産科・小児・精神医学) ※						
兼任	講師	ニシマキ ジョウジ 西巻 丈児	平成23年9月	倫理学						
兼任	講師	エンドウ キミ 遠藤 久美	平成25年9月	バリアティブケア						
兼任	講師	ウケモト ナホ 塚本 尚子	平成23年4月	発達心理学 臨床心理学						
兼任	講師	トマベチ シ 苔米地 伸	平成23年4月	家族社会学						
兼任	講師	タカハシ ヒロコ 高橋 寛子	平成24年4月	臨床栄養学						
兼任	講師	エカガリ ジュンイチ 江川 純一	平成24年4月	宗教学						
兼任	講師	スコット スペンサー Scott Spencer	平成22年4月	フレッシュマンイングリッシュⅠ フレッシュマンイングリッシュⅡ						
兼任	講師	マリナ バイクイスト Marina Byquist	平成22年4月	フレッシュマンイングリッシュⅠ フレッシュマンイングリッシュⅡ						
兼任	講師	ヤマモト ミチヨ 山本 美智代	平成24年4月	小児看護学Ⅱ (病気の子供のアセスメントと看護の実際) ※						
兼任	講師	コハヤシ ナミ 小林 奈美	平成23年4月	家族看護学						

- (注) ・認可申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(○学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。  
 ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
 ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
 ・年齢は、「認可時の計画」には開設時現在の満年齢(科目就任時の満年齢ではありません)を、「変更状況」には平成23年5月1日現在の満年齢を記入してください。  
 ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
 また、「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」、変更書を提出し、教員判定の結果が出ていない場合は「○年○月変更書提出済」、変更書を提出予定の場合は「○年○月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。  
 ・専任教員を変更する場合は、当該専門教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。

<医療保健学部 看護学科>

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
9	4	2	8	23	8	9	4	2	7	23	8	
( 7 )	( 1 )	( 2 )	( 7 )	( 17 )	( 2 )	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[△1]	[ 0 ]	[ 0 ]	

(注) ・「認可時の計画」には、設置認可時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に設置認可時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1	助教	●●●●	平成23年3月、一身上の都合により退職

(注) ・設置認可時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

●●●●が担当することになっていたそれぞれの実習科目については、平成24年度から開講することになっているため、平成24年4月から専任教員を採用することで、特に支障はないと考える。(23)
---

(注) ・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

<医療保健学部 臨床工学科>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
専	教授(学科長)	ヤマウラ トシ 山浦 富雄	平成22年4月	フレッシュャーズゼミ 物理の基礎 数学の基礎 統計学 数学(線形代数) 数学(微分積分) 数学(応用解析学) 電磁気学 工学実験Ⅰ 工学実験Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						
専	教授	カサキ ヨシ 加藤 洋	平成22年4月	フレッシュャーズゼミ 人体解剖学Ⅰ 人体解剖学Ⅱ 病理学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						
専	教授	タケノ スケ 武田 朴	平成22年4月	フレッシュャーズゼミ 電子工学Ⅰ 電子工学Ⅱ 工学実験Ⅰ 工学実験Ⅱ 工学演習Ⅰ 工学演習Ⅱ 医用画像工学 生体計測機器学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						
専	教授	セニ イ 銭 逸	平成22年4月	フレッシュャーズゼミ 機械工学Ⅱ 工学実験Ⅰ 工学実験Ⅱ 工学演習Ⅰ 工学演習Ⅱ 体外循環装置学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						
専	教授	シハラ カズヒコ 篠原 一彦	平成22年4月	フレッシュャーズゼミ 医療安全・人間工学概論 先端医療総合講義 外科系臨床医学Ⅰ 外科系臨床医学Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						
専	准教授	ナエムラ キヨシ 苗村 潔	平成22年4月	フレッシュャーズゼミ 電気工学 機械工学Ⅰ システム制御工学 工学実験Ⅰ 工学実験Ⅱ 工学演習Ⅰ 工学演習Ⅱ 医用治療機器学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						
専	准教授	ミヤチ ヒロカ 宮地 寛登	平成22年4月	フレッシュャーズゼミ 生物の基礎 医療科学の基礎Ⅰ 医療科学の基礎Ⅱ 医用物性材料工学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						
専	助教	ミズシマ イワノ 水島 岩徳	平成22年4月	フレッシュャーズゼミ 医用機器実習 生体機能代行装置実習Ⅰ 生体機能代行装置実習Ⅱ 医療機器安全管理学実習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						
専	講師	ヒナカ ナエ 日向 奈恵	平成22年4月	フレッシュャーズゼミ 基礎医学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						
専	講師	ミナミ ジュンコ 南 順子	平成22年4月	フレッシュャーズゼミ 基礎医学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						

<医療保健学部 臨床工学科>

認可時の計画					変更状況					備考
専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年 月	授業担当科目名	専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年 月	授業担当科目名	
専	講師	シズメ ミヅ 志水 美文	平成22年4月	フレッシュヤーズゼミ 医療科学の基礎Ⅰ 医療科学の基礎Ⅱ 化学の基礎 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						
専	助教	コノウラ チカコ 木浦 千夏子	平成22年4月	フレッシュヤーズゼミ 医用機器実習 呼吸療法装置学 生体機能代行装置実習Ⅱ 医療機器安全管理学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						
専	助教	シンボ トシロ 新保 年弘	平成23年4月	生体機能代行装置実習Ⅰ 生体機能代行装置実習Ⅱ 臨床実習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ						
専	助教	ツカオ ヒロシ 塚尾 浩	平成22年4月	フレッシュヤーズゼミ 血液浄化装置学 生体機能代行装置実習Ⅰ 臨床実習 専門演習Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床工学セミナー						
兼任	教授	サキ シュンコ 佐々木 順子	平成23年4月	公衆衛生学						
兼任	教授	サイウ シゲコ 斉藤 茂子	平成22年9月	看護学概論						
兼任	教授	カクラ ケイ 鎌倉 恵子	平成23年4月	内科系臨床医学Ⅰ 内科系臨床医学Ⅱ						
兼任	教授	ヤキサリ ノブオ 柳澤 信夫	平成22年4月	医学概論						
兼任	教授	ハシ シン 橋野 賢	平成23年4月	応用コンピュータⅠ 応用コンピュータⅡ 応用コンピュータ演習Ⅰ 応用コンピュータ演習Ⅱ						
兼任	教授	ヤノ カズヨシ 矢野 和義	平成23年4月	臨床微生物・免疫学						
兼任	講師	カシバ ミサト 加柴 美里	平成22年4月	医療科学の基礎Ⅰ 医療科学の基礎Ⅱ 臨床生化学						
兼任	教授	カノウ マサヒロ 工藤 昌宏	平成22年4月	経済学						
兼任	教授	オク マサヒロ 奥 正廣	平成22年9月	心理学 コミュニケーション論						
兼任	教授	クワリ シュウイチ 黒川 修一	平成22年4月	芸術論						
兼任	教授	タカハシ キヨシ 高橋 潔	平成22年4月	コンピュータリテラ シー演習Ⅰ コンピュータリテラ シー演習Ⅱ コンピュータ概論Ⅰ コンピュータ概論Ⅱ 情報工学特論						
兼任	教授	サカマ ユウジ 佐久間 裕司	平成22年9月	スポーツ・コンディ ショニング 集中実技Ⅱ						
兼任	教授	オサキ ヒロユキ 尾崎 弘之	平成23年9月	医療経済学						
兼任	教授	タナカ スミ 田中 寿美	平成22年4月	フレッシュマンイン グリッシュⅠ フレッシュマンイン グリッシュⅡ 英語インテンシブⅠ 英語インテンシブⅡ						



<医療保健学部 臨床工学科>

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
兼任	准教授	オチアイ コウタロウ 落合 浩太郎	平成22年4月	政治学						
兼任	准教授	マツイ タイス 松井 泰二	平成22年4月	栄養と健康 集中実技 I						
兼任	講師	ムラカミ ケンジ 村上 康二郎	平成22年9月	法学						
兼任	講師	フクダ ジュン 福田 潤	平成22年9月	生理学 I 生理学 II						
兼任	講師	サトウ カズエ 佐藤 和恵	平成23年9月	臨床薬理学						
兼任	講師	タケミ ユウジ 垂水 雄二	平成22年9月	生命倫理						
兼任	講師	トクモト コトヨ 徳元 琴代	平成22年9月	科学論						
兼任	講師	ナカガワ アキヒロ 中川 明博	平成22年4月	哲学						
兼任	講師	ニシマキ ジョウジ 西巻 丈児	平成23年9月	倫理学						
兼任	講師	ウラモト ナオコ 塚本 尚子	平成23年9月	臨床心理学						
兼任	講師	エガワ ジュンイチ 江川 純一	平成23年4月	宗教学						
兼任	講師	スコット スペンサー Scott Spencer	平成22年4月	フレッシュマンイン グ リッシュ I フレッシュマンイン グ リッシュ II						
兼任	講師	マリナ バイクイスト Marina Byquist	平成22年4月	フレッシュマンイン グ リッシュ I フレッシュマンイン グ リッシュ II						
兼任	講師	オノ リアキ 小野 哲章	平成24年4月	医療機器安全管理学						
兼任	講師	ノダ セイジ 野田 雅司	平成25年9月	医療情報演習						

- (注) ・認可申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・年齢は、「**認可時の計画**」には**開設時現在の満年齢(科目就任時の満年齢ではありません)**を、「**変更状況**」には**平成23年5月1日現在の満年齢**を記入してください。
  - ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
  - ・また、「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出し、教員判定の結果が出ていない場合は「〇年〇月変更書提出済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
  - ・なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。
  - ・専任教員を変更する場合は、当該専門教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。

<医療保健学部 臨床工学科>

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
5	2	3	4	14	2	5	2	3	4	14	2	
( 5 )	( 2 )	( 3 )	( 3 )	( 13 )	( 0 )	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

(注) ・「認可時の計画」には、設置認可時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成22年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に設置認可時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(3) 専任教員辞任等の理由

「該当なし」

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1			
2			
3			

(注) ・設置認可時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「該当なし」

(注) ・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

<医療保健学部 理学療法学科>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
専	教授(学科長)	イトウ ナホイ 伊藤 直榮	平成22年4月	理学療法入門 臨床実習Ⅰ(見学) 臨床実習Ⅱ(検査測定)			後任未定			平成21年11月 ●●●●が死亡(22) 「後任未定」 平成23年4月から専任教員採用予定で選考中。  「後任未定」 平成24年4月から専任教員採用予定で選考中(23)
専	教授	カマクラ ケイコ 鎌倉 恵子	平成23年4月	フレッシュヤーズゼミ 一般臨床医学 神経内科学 リハビリテーション医学 卒業研究						
専	教授	カヤマ タカシ 中山 孝	平成22年4月	フレッシュヤーズゼミ キネシオロジー キネシオロジー演習 理学療法総合演習 理学療法ゼミ 卒業研究 マニュアルセラピー実習 臨床実習Ⅰ(見学) 臨床実習Ⅳ(インターン) 運動器系理学療法評価学						
専	准教授	アミト カズ 網本 和	平成24年4月	フレッシュヤーズゼミ 理学療法研究 理学療法ゼミ 卒業研究 神経系理学療法評価学 神経系理学療法学 臨床実習Ⅲ(評価)						
兼任	講師	アミト カズ 網本 和	平成23年9月	神経系理学療法評価学						
専	教授	タカハシ テツヤ 高橋 哲也	平成23年4月	理学療法研究 卒業研究 機能・能力測定演習 内部障害系理学療法評価学 内部障害系理学療法学 実習						
専	教授	コマツ タケキ 小松 泰喜	平成22年4月	フレッシュヤーズゼミ 理学療法ゼミ 卒業研究 運動療法実習 運動器系理学療法学実習 スポーツ科学理学療法学 演習 臨床実習Ⅱ(検査測定) 運動療法						
専	准教授	ミヤザキ タカキ 宮崎 貴朗	平成24年4月	フレッシュヤーズゼミ 理学療法入門 理学療法ゼミ 卒業研究 運動器系理学療法学実習 老年期理学療法学 日常生活活動論実習 臨床実習Ⅲ(評価) 日常生活活動論 生活環境学						
兼任	講師	ミヤザキ タカキ 宮崎 貴朗	平成22年4月	理学療法入門 日常生活活動論						

<医療保健学部 理学療法学科>

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
専	准教授	イシノカイ 石黒 圭応	平成22年4月	フレッシュアーズゼミ キネシオロジー キネシオロジー演習 クリニカル・キネシオロジー演習 リハビリテーション工学 卒業研究 物理療法 義肢装具学実習 運動器系理学療法学 義肢装具学演習						
専	准教授	スガハラヒトシ 菅原 仁	平成23年4月	フレッシュアーズゼミ 理学療法総合演習 卒業研究 運動器系理学療法学評価学 物理療法実習 臨床実習Ⅳ(インターン)						
専	講師	マサタミハ 真寿田 三葉	平成24年4月	フレッシュアーズゼミ 理学療法研究 卒業研究 機能・能力測定演習 運動療法実習 内部障害系理学療法学 内部障害系理学療法学実習						
兼任	講師	マサタミハ 真寿田 三葉	平成22年9月	機能・能力測定演習 運動療法実習						
専	講師	カワイエ 河西 理恵	平成22年4月	フレッシュアーズゼミ キネシオロジー演習 理学療法入門 卒業研究 マニュアルセラピー						
専	講師	クリタヒデアキ 栗田 英明	平成24年4月	フレッシュアーズゼミ 理学療法総合演習 卒業研究 神経系理学療法学評価学 神経系理学療法学実習 内部障害系理学療法学実習 発達障害系理学療法学演習						
兼任	講師	クリタヒデアキ 栗田 英明	平成23年9月	神経系理学療法学評価学						
専	助教	ヨシダシンイチ 吉田 真一	平成24年4月	クリニカル・キネシオロジー演習 理学療法入門 機能・能力測定演習						
兼任	講師	ヨシダシンイチ 吉田 真一	平成22年4月	理学療法入門 機能・能力測定演習						
専	助教	サカイユウコ 佐藤 裕子	平成24年4月	発達障害系理学療法学演習 日常生活活動論実習						
専	助教	ムラトモカズ 武藤 友和	平成22年4月	臨床実習Ⅰ(見学) 臨床実習Ⅱ(検査測定)						
専	助教	ヨシマツタツキ 吉松 竜貴	平成22年4月	機能・能力測定 臨床実習Ⅲ(評価) 臨床実習Ⅳ(インターン)						
兼任	教授	ササキジュンコ 佐々木 順子	平成24年4月	公衆衛生学						
兼任	教授	ヤマウラトモオ 山浦 富雄	平成22年4月	物理の基礎 数学の基礎 統計学						
兼任	教授	カノウヨウ 加藤 洋	平成22年4月	人体構造学Ⅰ 人体構造学Ⅱ 解剖学実習Ⅰ 解剖学実習Ⅱ 病理・組織学演習 病理学						
兼任	教授	シハラカズヒコ 篠原 一彦	平成24年9月	医療安全・人間工学概論 先端医療総合講義 リスク管理論						

<医療保健学部 理学療法学科>

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
兼任	准教授	ミチヒロカ 宮地 寛登	平成22年4月	医療科学の基礎Ⅰ 医療科学の基礎Ⅱ 生物の基礎						
兼任	講師	ミミ ジュンコ 南 順子	平成22年9月	解剖学実習Ⅰ 解剖学実習Ⅱ						
兼任	講師	シズ ミミ 志水 美文	平成22年4月	医療科学の基礎Ⅰ 医療科学の基礎Ⅱ 化学の基礎 生理学実習						
兼任	教授	ヤギキチ ノブオ 柳澤 信夫	平成22年4月	老年医学 医学概論						
兼任	教授	ハノ サトシ 橋野 賢	平成23年4月	応用コンピュータⅠ 応用コンピュータⅡ 応用コンピュータ演習Ⅰ 応用コンピュータ演習Ⅱ						
兼任	教授	ヤノ カズヨシ 矢野 和義	平成23年4月	臨床微生物・免疫学						
兼任	准教授	オシマ リュウイチロウ 大島 隆一郎	平成22年9月	人間発達学						
兼任	講師	カシハ ミサト 加柴 美里	平成22年4月	医療科学の基礎Ⅰ 医療科学の基礎Ⅱ 栄養代謝学						
兼任	教授	クドウ マサヒロ 工藤 昌宏	平成22年4月	経済学						
兼任	教授	オク マサヒロ 奥 正廣	平成22年9月	心理学 コミュニケーション論						
兼任	教授	カカ シュウイチ 黒川 修一	平成22年4月	芸術論						
兼任	教授	タカハシ キヨシ 高橋 潔	平成22年4月	コンピュータリテラシー演習Ⅰ コンピュータリテラシー演習Ⅱ コンピュータ概論Ⅰ コンピュータ概論Ⅱ						
兼任	教授	サカマ ユウジ 佐久間 裕司	平成22年9月	スポーツ・コンディショニング 集中実技Ⅱ						
兼任	教授	オザキ ヒロユキ 尾崎 弘之	平成23年9月	医療経済学						
兼任	教授	タカ スミ 田中 寿美	平成22年4月	フレッシュマンイングリッシュⅠ フレッシュマンイングリッシュⅡ 英語インテンシブⅠ 英語インテンシブⅡ						
兼任	准教授	オチアイ コウタロウ 落合 浩太郎	平成22年4月	政治学						
兼任	准教授	マツイ タシロ 松井 泰二	平成22年4月	栄養と健康 集中実技Ⅰ						
兼任	講師	ムラカミ ヤスシロウ 村上 康二郎	平成22年9月	法学						
兼任	講師	サトウ カズエ 佐藤 和恵	平成23年9月	臨床薬理学						
兼任	講師	タケミ ユウジ 垂水 雄二	平成22年9月	生命倫理						
兼任	講師	トクモト コトヨ 徳元 琴代	平成22年9月	科学論						

<医療保健学部 理学療法学科>

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
兼任	講師	カサハ シン 竹内 真一	平成23年9月	画像評価学						
兼任	講師	ヤマカワ ユリコ 山川 百合子	平成23年4月	精神医学						
兼任	講師	ナカガキ アキヒロ 中川 明博	平成22年4月	哲学						
兼任	講師	ニシマキ ショウジ 西巻 丈児	平成23年9月	倫理学						
兼任	講師	ツカモト ナオ 塚本 尚子	平成23年9月	臨床心理学						
兼任	講師	トマヘチ シン 苔米地 伸	平成23年4月	家族社会学						
兼任	講師	エカワ ジュンイチ 江川 純一	平成23年4月	宗教学						
兼任	講師	スコット スペンサー Scott Spencer	平成22年4月	フレッシュマンイングリッシュⅠ フレッシュマンイングリッシュⅡ						
兼任	講師	マリナ ハイキスト Marina Byquist	平成22年4月	フレッシュマンイングリッシュⅠ フレッシュマンイングリッシュⅡ						
兼任	講師	ノダ セイジ 野田 雅司	平成25年9月	医療情報演習						
兼任	講師	カムラ ヨウイチロウ 加村 壮一郎	平成23年4月	整形外科学						
兼任	講師	スズキ ヒサハル 鈴木 文晴	平成23年9月	小児科学						
兼任	講師	ハマノウエ マコト 浜之上 誠	平成22年4月	生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学実習						
兼任	講師	クロカワ ユキオ 黒川 幸雄	平成25年4月	理学療法マネジメント論						
専任補充				地域理学療法学 住宅環境論			後任未定			「地域理学療法学」(4年次後期)、「住宅環境論」(4年次前期)は、●●●●が担当することを予定していたが、教員審査の判定が「不可」となったため、科目開設時までに教員審査を受け専任を補充する。(22) 上記(22)は平成23年度も同様(23)

- (注) ・ 認可申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・ 年齢は、「認可時の計画」には開設時現在の満年齢(科目就任時の満年齢ではありません)を、「変更状況」には平成23年5月1日現在の満年齢を記入してください。
  - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
  - ・ また、「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出し、教員判定の結果が出ていない場合は「〇年〇月変更書提出済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
  - ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。
  - ・ 専任教員を変更する場合は、当該専門教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。

<医療保健学部 理学療法学科>

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
5	4	3	4	16	1	4	4	3	4	14	1	
( 3 )	( 1 )	( 1 )	( 2 )	( 7 )	( 0 )	[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]	

(注) ・「認可時の計画」には、設置認可時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成22年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に設置認可時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1	教授 (学科長)	●●●●	平成21年11月、本人死亡のため。

(注) ・設置認可時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

●●●●が担当することになっていたそれぞれの科目については、担当が「可」となっている他の担当教員が対応するなどして認可時の計画どおり全科目を開講していることから、特に支障はないと考える。
---

(注) ・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

<医療保健学部 作業療法学科>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
専	教授(学部長)	ヤキサチ ノブオ 柳澤 信夫	平成22年4月	フレッシュヤーズゼミ 老年医学 医学概論 作業療法卒業研究						
専	教授	ヤマザキ イコ 山崎 郁子	平成22年4月	フレッシュヤーズゼミ コミュニケーション演習 コミュニケーション実習 精神障害作業療法学各論Ⅰ(治療技法別) 基礎作業療法技法実習Ⅱ 作業療法卒業研究 心理社会的機能作業療法評価学演習 作業療法学概論						
専	教授	イタ ムネロ 生田 宗博	平成23年4月	身体障害作業療法学Ⅰ(神経系) 身体障害作業療法学Ⅲ(全身性障害) 身体障害作業療法学総論 義肢装具学 地域作業療法学Ⅰ(身体障害・老年期障害) 臨床運動学演習 作業療法卒業研究 運動学実習 作業療法学概論						
兼任	講師	イタ ムネロ 生田 宗博	平成22年9月	作業療法学概論						
専	教授	ハシノ トシ 橋野 賢	平成22年4月	フレッシュヤーズゼミ 応用コンピュータⅠ 応用コンピュータⅡ 応用コンピュータ演習Ⅰ 応用コンピュータ演習Ⅱ 作業療法卒業研究						
専	教授	ヤノ カズヨシ 矢野 和義	平成23年4月	フレッシュヤーズゼミ 臨床微生物・免疫学 作業療法研究法 作業療法卒業研究						
兼任	教授	ヤノ カズヨシ 矢野 和義	平成22年4月	フレッシュヤーズゼミ						
専	准教授	オシマ リュウイチロウ 大島 隆一郎	平成22年4月	フレッシュヤーズゼミ 人間発達学 発達障害作業療法学演習Ⅰ 発達障害作業療法学演習Ⅱ 地域作業療法学Ⅱ(精神障害・発達障害) 臨床講座Ⅰ 臨床講座Ⅱ 作業療法セミナーⅢ 臨床実習Ⅳ(総合実習) 作業療法卒業研究 臨床実習Ⅲ(総合実習) 臨床実習Ⅱ(評価実習)						
専	准教授	コウフチ ミドリ 河淵 緑	平成22年4月	フレッシュヤーズゼミ 身体障害作業療法学Ⅰ(神経系) 身体障害作業療法学Ⅱ(筋骨格系) 身体障害作業療法学Ⅲ(全身性障害) 身体障害作業療法学Ⅳ(外傷熱傷) 身体障害作業療法学Ⅵ(感覚器その他) 職業前関連活動学 作業解析学演習 作業療法卒業研究 身体障害作業療法学Ⅴ(老年期障害) 臨床実習Ⅰ(評価実習) 作業療法管理学						



<医療保健学部 作業療法学科>

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
専任	准教授	タマル アキコ 田丸 あき子	平成24年4月	プレッシャーズセミナー 身体障害作業療法学Ⅱ(筋骨格系) 身体障害作業療法学Ⅲ(全身性障害) 身体障害作業療法学Ⅳ(外傷熱傷) 身体障害作業療法学Ⅵ(感覚器その他) 職業前関連活動学 臨床講座Ⅰ 臨床講座Ⅱ 作業療法セミナーⅠ 作業療法卒業研究 老年期障害作業療法学総論 臨床実習Ⅲ(総合実習)						
専任	講師	カシバ ミチ 加柴 美里	平成22年4月	医療科学の基礎Ⅰ 医療科学の基礎Ⅱ 栄養代謝学						
専任	助教	ミツネ マサヒロ 光金 正官	平成23年4月	臨床実習Ⅱ(評価実習) 作業療法セミナーⅡ 作業解析学演習						
専任	助教	オスキ ミツグ 小貴 貢	平成23年4月	臨床実習Ⅳ(総合実習) 臨床見学						平成23年4月から●●●●●が専任・助教として就任することとなっていたが、一身上の都合により就任が遅延。「臨床見学」(2年前期)については、実習先の都合により2年後期に変更(23)
専任	助教	イハシ ヒトミ 石橋 仁美	平成22年4月	臨床実習Ⅰ(評価実習) 心理社会的機能作業療法評価学演習						
兼任	教授	ササキ ジュンコ 佐々木 順子	平成23年4月	公衆衛生学						
兼任	教授	ヤマウラ トシ 山浦 富雄	平成22年4月	物理の基礎 数学の基礎 統計学						
兼任	教授	カトウ ヨシ 加藤 洋	平成22年4月	人体構造学Ⅰ 人体構造学Ⅱ 解剖学実習Ⅰ 解剖学実習Ⅱ 病理・組織学演習 病理学						
兼任	教授	シハラ カズヒロ 篠原 一彦	平成24年4月	医療安全・人間工学概論 先端医療総合講義						
兼任	准教授	ミヤ ヒロカ 宮地 寛登	平成22年4月	医療科学の基礎Ⅰ 医療科学の基礎Ⅱ 生物の基礎						
兼任	講師	ミナミ ジュンコ 南 順子	平成22年9月	解剖学実習Ⅰ 解剖学実習Ⅱ						
兼任	講師	シミス ミフミ 志水 美文	平成22年4月	医療科学の基礎Ⅰ 医療科学の基礎Ⅱ 化学の基礎 生理学実習						
兼任	教授	カマクラ ケイコ 鎌倉 恵子	平成23年4月	一般臨床医学 神経内科学 リハビリテーション医学						
兼任	教授	ナカヤマ タシ 中山 孝	平成22年9月	運動学						
兼任	准教授	イシグロ ケイイチ 石黒 圭広	平成23年4月	リハビリテーション工学 運動学実習						
兼任	教授	シノガ ミネ 篠田 峯子	平成22年4月	精神障害作業療法学総論 精神障害作業療法学各論Ⅱ(疾患・障害別) 心理社会的障害日常生活活動学演習 作業療法研究法 コミュニケーション演習 コミュニケーション実習	兼任	講師	イワイ カズコ 岩井 和子	平成23年4月	精神障害作業療法学総論	平成23年3月●●●●●兼任・教授が一身上の都合により退職のため。「精神障害作業療法学総論」(2年次)については、平成23年度より岩井和子(兼任・講師)に担当者を変更。(23)他の科目については、科目開設時まで兼任・講師を採用する予定(23)

<医療保健学部 作業療法学科>

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
兼任	教授	クドウ マサヒロ 工藤 昌宏	平成22年4月	経済学						
兼任	教授	オク マサヒロ 奥 正廣	平成22年9月	心理学 コミュニケーション論						
兼任	教授	ヤマカ シュンペイ 山岡 俊平	平成22年9月	基礎作業療法技法実習Ⅰ 基礎作業療法技法実習Ⅱ						
兼任	教授	クワカ シュウイチ 黒川 修一	平成22年4月	芸術論						
兼任	教授	タカハシ キヨシ 高橋 潔	平成22年4月	コンピュータリテラシー演習Ⅰ コンピュータリテラシー演習Ⅱ コンピュータ概論Ⅰ コンピュータ概論Ⅱ						
兼任	教授	サカマ ユウジ 佐久間 裕司	平成22年9月	スポーツ・コンディショニング 集中実技Ⅱ						
兼任	教授	オノキ ヒロユキ 尾崎 弘之	平成23年9月	医療経済学						
兼任	教授	タナカ スミ 田中 寿美	平成22年4月	フレッシュマンイングリッシュⅠ フレッシュマンイングリッシュⅡ 英語インテンシブⅠ 英語インテンシブⅡ						
兼任	准教授	オチアイ コウタロウ 落合 浩太郎	平成22年4月	政治学						
兼任	助教	ヨシダ シンイチ 吉田 真一	平成24年4月	臨床運動学演習						
兼任	准教授	マツイ タイン 松井 泰二	平成22年4月	栄養と健康 集中実技Ⅰ						
兼任	講師	ムラカミ ヤスジロウ 村上 康二郎	平成22年9月	法学						
兼任	講師	サトウ カズエ 佐藤 和恵	平成23年9月	臨床薬理学						
兼任	講師	タケミ ユウジ 垂水 雄二	平成22年9月	生命倫理						
兼任	講師	トクモト コトヨ 徳元 琴代	平成22年9月	科学論						
兼任	講師	タケウチ シンイチ 竹内 真一	平成23年9月	画像評価学						
兼任	講師	ヤマカミ ユリコ 山川 百合子	平成23年4月	精神医学						
兼任	講師	ナカガキ アキヒロ 中川 明博	平成22年4月	哲学						
兼任	講師	ニシマキ ショウジ 西巻 丈児	平成23年9月	倫理学						
兼任	講師	ツカモト ナオコ 塚本 尚子	平成23年9月	臨床心理学						
兼任	講師	トマベチ シン 苔米地 伸	平成23年4月	家族社会学						
兼任	講師	エガリ ジュンイチ 江川 純一	平成23年4月	宗教学						

<医療保健学部 作業療法学科>

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
兼任	講師	スコット スペンサー Scott Spencer	平成22年4月	フレッシュマンイングリッシュⅠ フレッシュマンイングリッシュⅡ						
兼任	講師	マリナ バイクスト Marina Byquist	平成22年4月	フレッシュマンイングリッシュⅠ フレッシュマンイングリッシュⅡ						
兼任	講師	ノダ セイジ 野田 雅司	平成25年9月	医療情報演習						
兼任	講師	カマラ ヲイチロウ 加村 壮一郎	平成23年4月	整形外科学						
兼任	講師	ススキ ヒサハル 鈴木 文晴	平成23年9月	小児科学						
兼任	講師	ハノウエ マコト 浜之上 誠	平成22年4月	生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学実習						
兼任	講師	カガモト ミツコ 株本 光子	平成22年9月	文章表現リテラシー	兼任	講師	マツムラ ユキヨ 松村 由紀子	平成22年9月	文章表現リテラシー	平成22年8月●●●●兼任・講師が辞任のため、平成22年9月より担当者の変更(23)
兼任	講師	カナ ヒロコ 川名 裕子	平成24年9月	地域作業療法学Ⅱ(精神障害・発達障害) 作業療法セミナーⅣ						
兼任	講師	オスキ カズヨ 小貫 量代	平成22年9月	基礎作業療法技法実習Ⅰ 身体障害作業療法学Ⅴ(老年期障害)						
兼任	講師	イシザワリ カズエ 石澤 和絵	平成23年9月	臨床講座Ⅰ 臨床実習Ⅰ(評価実習) 臨床実習Ⅱ(評価実習)						
専任補充				地域作業療法学Ⅰ(身体障害・老年期障害) 身体障害作業療法学Ⅳ(外傷熱傷)			後任未定			「地域作業療法学Ⅰ」(3年次後期)、「身体障害作業療法学Ⅳ」(3年次後期)は、●●●●が担当することを予定していたが、教員審査の判定が「不可」となったため、科目開設時までに教員審査を受け専任を補充する。(22) 上記(22)は平成23年度も同様(23)
				高次脳機能障害作業療法学			後任未定			「高次脳機能障害作業療法学」(3年次後期)は、●●●●が担当することを予定していたが、教員審査の判定が「不可」となったため、科目開設時までに教員審査を受け専任を補充する。(22) 上記(22)は平成23年度も同様(23)

- (注)・認可申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(○学部 △学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。  
 ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
 ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
 ・年齢は、「認可時の計画」には開設時現在の満年齢(科目就任時の満年齢ではありません)を、「変更状況」には平成23年5月1日現在の満年齢を記入してください。  
 ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
 また、「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」、変更書を提出し、教員判定の結果が出ていない場合は「○年○月変更書提出済」、変更書を提出予定の場合は「○年○月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。  
 ・専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。

<医療保健学部 作業療法学科>

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
5	3	1	3	12	2	5	3	1	3	12	2	
(4)	(2)	(1)	(1)	(8)	(1)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・「認可時の計画」には、設置認可時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に設置認可時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(3) 専任教員辞任等の理由

「該当なし」

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1			
2			
3			

(注) ・設置認可時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「該当なし」

(注) ・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項に対する履行状況等

<デザイン学部デザイン学科>

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (21年10月)	1. 運動場が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。	蒲田と八王子キャンパス間にスクールバスを運行して、学生の課外活動に配慮している。 運行時間 八王子発 9:30 18:00 蒲田着 11:30 20:00 蒲田発 13:00 20:00 八王子着 15:00 22:00 今後も学生の利用状況により継続的に適切な運行時間を検討する。(22)  蒲田キャンパスの学生は、キャンパス内又は近隣の公共施設を利用して課外活動を行っているが、八王子キャンパスの運動施設も利用できるように、事前の申請により、蒲田-八王子キャンパス間でスクールバスを運行することとしている(23)	
設置計画履行状況 調 査 時 (23年2月)	該当なし		

<医療保健学部>

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (21年10月)	<看護学科> 1. 運動場が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。	蒲田と八王子キャンパス間にスクールバスを運行して、学生の課外活動に配慮している。 運行時間 八王子発 9:30 18:00 蒲田着 11:30 20:00 蒲田発 13:00 20:00 八王子着 15:00 22:00 今後も学生の利用状況により継続的に適切な運行時間を検討する。(22)  蒲田キャンパスの学生は、キャンパス内又は近隣の公共施設を利用して課外活動を行っているが、八王子キャンパスの運動施設も利用できるように、事前の申請により、蒲田-八王子キャンパス間でスクールバスを運行することとしている(23)	
	<臨床工学科> 1. 運動場が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。	蒲田と八王子キャンパス間にスクールバスを運行して、学生の課外活動に配慮している。 運行時間 八王子発 9:30 18:00 蒲田着 11:30 20:00 蒲田発 13:00 20:00 八王子着 15:00 22:00 今後も学生の利用状況により継続的に適切な運行時間を検討する。(22)  蒲田キャンパスの学生は、キャンパス内又は近隣の公共施設を利用して課外活動を行っているが、八王子キャンパスの運動施設も利用できるように、事前の申請により、蒲田-八王子キャンパス間でスクールバスを運行することとしている(23)	
	<理学療法学科> 1. 運動場が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。  2. 専任教員の補充を必要とされた2授業科目については、科目開設時までには、専任教員を配置すること。	蒲田と八王子キャンパス間にスクールバスを運行して、学生の課外活動に配慮している。 運行時間 八王子発 9:30 18:00 蒲田着 11:30 20:00 蒲田発 13:00 20:00 八王子着 15:00 22:00 今後も学生の利用状況により継続的に適切な運行時間を検討する。(22)  蒲田キャンパスの学生は、キャンパス内又は近隣の公共施設を利用して課外活動を行っているが、八王子キャンパスの運動施設も利用できるように、事前の申請により、蒲田-八王子キャンパス間でスクールバスを運行することとしている(23)  「地域理学療法学」(4年次後期)、「住宅環境論」(4年次前期)については、それぞれ科目開設時までには専任教員を配置する。(22)	

<医療保健学部>

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
	<p>&lt;作業療法学科&gt;</p> <p>1. 運動場が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。</p> <p>2. 専任教員の補充を必要とされた3授業科目については、科目開設時までに確実に専任教員を配置すること。</p>	<p>蒲田と八王子キャンパス間にスクールバスを運行して、学生の課外活動に配慮している。</p> <p>運行時間 八王子発 9:30 18:00 蒲田着 11:30 20:00 蒲田発 13:00 20:00 八王子着 15:00 22:00</p> <p>今後も学生の利用状況により継続的に適切な運行時間を検討する。(22)</p> <p>蒲田キャンパスの学生は、キャンパス内又は近隣の公共施設を利用して課外活動を行っているが、八王子キャンパスの運動施設も利用できるように、事前の申請により、蒲田-八王子キャンパス間でスクールバスを運行することとしている(23)</p> <p>「地域作業療法学Ⅰ（身体障害・老年期障害）」（3年次後期）、「身体障害作業療法学Ⅳ（外傷熱傷）」（3年次後期）、「高次脳機能障害作業療法学」（3年次後期）については、それぞれ科目開設時までに専任教員を配置する。(22)</p>	
<p>設置計画履行状況 調 査 時 (23年2月)</p>	<p>該当なし</p>		

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
  - ・ 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

### (1) 設置計画変更事項等

<デザイン学部> 「該当なし」

認可時の計画	変更内容・状況，今後の見通しなど

<医療保健学部>

認可時の計画	変更内容・状況，今後の見通しなど
履修科目の登録上限単位数 48単位（年間）	医療保健学部の理念実現のため、専門教育の充実のみでなく、ICT教育をはじめとする基礎教育の履修機会を増やした。 履修科目の登録上限単位数 50単位（年間）

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で，設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し，それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

## (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

### <デザイン学部><医療保健学部>

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

平成22年度までは、学長室を中心として東京工科大学学長室会議（以下「学長室会議」）と連携して、全学的なFDに取り組んできたが、平成23年度からは、全学的な委員会として「FD委員会」を設置した。

##### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・学長室会議は、原則として月2回開催し、学長、研究科長、各学部長、学長補佐、教務部長、学生部長、事務局長、学長室長で構成している。
- ・平成22年度は、全15回開催し、欠席教員は4名とほぼ全員出席のもと会議を開催することができた。
- ・FD委員会は、教務部長、学生部長、各学部から1名、研究科から1名、学長室、事務局職員で構成され、5月20日に第1回の委員会を開催する予定である。

##### c 委員会の審議事項等

学長室会議では、別に組織している教育力強化委員会からの報告を受け、FDに関する様々な取組みについて審議してきた。FD委員会においては、基本的には学長室会議における審議事項を継承するとともに、一層の内容充実やSDを含む新たな企画について審議することとしている。

#### ② 実施状況

##### a 実施内容

- ・教員相互の授業参観（授業点検・評価）
- ・授業評価アンケート
- ・新任教員研修会
- ・全学教職員会
- ・アゴラ

##### b 実施方法・開催状況（教員の参加状況含む）

###### ・教員相互の授業参観

デザイン学部及び医療保健学部では、平成22年度後期から各学部2科目の授業参観を実施した。平成23年度については、各学部前期4科目、後期4科目の授業参観を実施する予定である。実施については、学部長、教務委員等数名の教員で授業評価表をもとに客観的な評価を行っている。

###### ・新任教員研修会

平成23年4月1日に、デザイン学部及び医療保健学部の平成23年4月に着任した全教員を対象に実施し、学長から本学の理念・目標の共有や教育研究に関する事項について研修会を実施した。

###### ・全学教職員会

平成22年度4月に第1回全学教職員会を「2キャンパスの大学運営及び今後の重要課題」というテーマで開催した。第2回目以降は「学生のメンタルヘルス」「学生サポート」等をテーマに全9回開催し、デザイン学部及び医療保健学部の教員の90%が参加した。

平成23年4月には、「アクティブラーニング」について第1回全学教職員会を開催し、両学部教員の91%が参加した。なお、平成23年度には、引き続き教育・研究の改善及び問題意識の共有などを図るため、前年度と同程度の実施を予定している。

###### ・授業評価アンケート

平成22年度は、当初の予定どおりデザイン学部及び医療保健学部の前期・後期開講科目について授業評価アンケートを実施した。

平成23年度も昨年度と同様に全開講科目で実施する予定である。



・アゴラ

平成22年度はデザイン学部で6回、医療保健学部で5回アゴラを開催し、主に教育に係わる討論を行った。  
平成23年度についても、年度内に各学部で6回程度のアゴラを開催し、授業評価アンケートや教員相互の授業参観の結果を踏まえた授業改善に取り組む予定である。なお、平成23年度第1回のアゴラは各学部5月11日に開催した。

c 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

平成22年度後期から、デザイン学部及び医療保健学部においても既設学部で行なっている教員相互の授業参観を実施し、授業改善に向けての検討を開始している。

また、既設学部において授業評価結果に関する全学教職員会でのディスカッションを行い、その際の反省点を踏まえて、授業点検項目等の見直しを行っており、平成23年度もデザイン学部及び医療保健学部においては、点検項目の見直しを反映した授業評価の実施を予定している。

平成23年度の第1回全学教職員会のテーマとなった「アクティブラーニング」について、デザイン学部及び医療保健学部においてもアクティブラーニングの実践に向けて検討する。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### <デザイン学部><医療保健学部>

##### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

「デザイン学部」では、デザイン教育の原点である感性教育に重点をおき、さらに21世紀型社会が求めるスキル教育を行い、それらを融合した新しいデザイン教育を行う。幅広い分野を修得する独自のカリキュラム体系の中で、デザインの総合性や横断的な思考を身につけ、21世紀型未来デザインを目指して、新しい人間の「すがた・かたち」「しくみ・しかけ」を創出することを目的として、視覚、映像、空間を対象としたデザイン分野を中心に21世紀型生活創造者の育成を行なう。

デザイン学部デザイン学科は、「視覚と伝達」「映像と構成」「空間と演出」という3コースからなる1学部1学科3コースとした。

科目区分は、基礎教育科目と専門教育科目とし、卒業要件は124単位とする。

デザイン学部は、上記の設置の趣旨を踏まえ、3コースの特色を活かした実践教育の目的を達成すべく、1年次の教育を開始すると共に、2年時以降の準備を進めている。

「医療保健学部」では、自立した医療職として専門的知識、技術に加えて、患者という人生経験豊かで病を得ている人に対応できる人間として優れた人格と社会的視野を有する社会人であることが強く求められていることから、これらの人材を育成する。

看護師、保健師、リハビリテーションにおける理学療法士、作業療法士及びこれからの医療機器管理の技術者としての臨床工学技士の需要は一層増加し、しかもこれからの医療専門職の育成には、従来の専門学校における教育を超えた大学教育がより望ましい現状にある。

医療保健学部は、看護学科、臨床工学科、理学療法学科、作業療法学科の4学科を設置した。

科目区分は基礎教育科目、専門教育科目、専門科目とし、卒業要件単位数は各学科とも128単位とする。各医療職の国家試験受験資格に定められたすべての必修科目等を修了し、単位を修得することも卒業要件とする。

医療保健学部は、上記の設置の趣旨を踏まえ、看護学科、臨床工学科、理学療法学及び作業療法学において、各々の学科の特色を活かした実践教育の目的を達成すべく1年次の教育を開始すると共に、2年時以降の準備を進めている。

##### ② 自己点検・評価報告書

###### a 公表（予定）時期

- ・平成24年3月1日 公表

###### b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、他大学等に各1冊を配布
- ・大学ホームページ上に公開予定（平成24年3月末を予定）

##### ③ 認証評価を受ける計画

- ・平成26年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置認可時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・  無 )
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) ( )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク (  承諾する ・  承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス

([http://www.teu.ac.jp/ap\\_page/koukai/3-1.pdf](http://www.teu.ac.jp/ap_page/koukai/3-1.pdf) )

- (注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。  
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : [d-secchi@mext.go.jp](mailto:d-secchi@mext.go.jp)

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。